TOTO

施工説明書

台付シングル混合水栓
（水ほうき／浄水兼用タイプ・浄水なしタイプ）

TKG12309型・TKG12311型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1. 安全上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・1 ～ 4
2. 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
3. 部品の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・6 ～ 9
4. 完成図・・・・・・・・・・・・・・・・・・9 ～ 10
5. 取り付け前に・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
6. 施工手順・・・・・・・・・・・・・・・・12 ～ 39
7. 試運転および調節・・・・・・・・・・・・40 ～ 44
8. 点検項目・・・・・・・・・・・・・・・・・45 ～ 47
9. お引き渡し準備・・・・・・・・・・・・・48 ～ 49
10. 使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
11. 寒冷地用の水抜き方法・・・・・・・・・51 ～ 53

■工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

	⃠ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

⚠ 警告

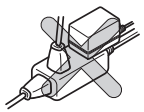
禁止

ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因になります。

電源プラグや駆動部・コントローラーに水をかけない
火災や感電の原因になります。

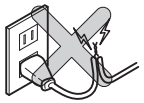
指定する電源（AC100V）以外では使用しない
火災の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない
火災や感電の原因になります。

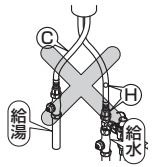


1-2.

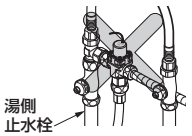
⚠ 警告

禁止

湯水を逆に配管しない
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

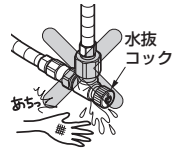


浄水側駆動部・きれい除菌水を湯側に配管しない
湯が出てやけどすることがあります。また水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



給湯温度は85℃より高温で使用しない
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

寒冷地用
水抜コックは水抜き以外の目的で開けない
水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



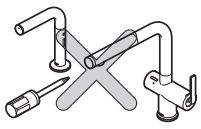
接触禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因になります。

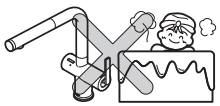
分解禁止

この説明書に記載された項目以外は分解しない
破損して、やけど・感電・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない
故障や感電の原因になります。



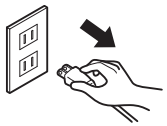
1-3.

⚠ 警 告

必ず実行

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く

コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

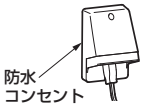


電源プラグを差し込むときは根元までしっかり差し込む

火災や感電の原因になります。

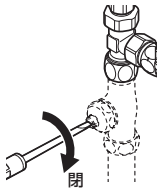
コンセントや電源プラグに給水管などの結露水や使用時の水滴がかからないよう、コンセント取付位置や防水コンセントの使用など配慮すること

火災や感電の原因になります。



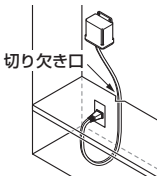
フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う

水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



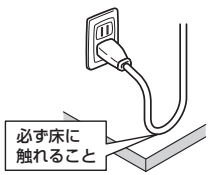
電源コードはキャビネットおよび高温部に接触しないよう、余ったコードを切り欠き口から点検口内に引き込むこと

火災や感電の原因になります。



電源コードを伝ってコンセントに水がかからないようにコンセント付近で必ず床に触れるよう、配線すること

火災や感電の原因になります。



配線コードおよびホース類は高温部に接触しないようにする

火災や感電の原因になります。

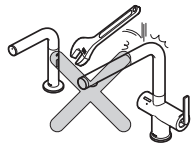
1-4.

⚠ 注 意

禁 止

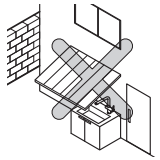
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



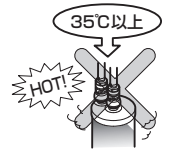
屋外には設置しない

故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



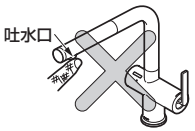
浄水カートリッジは35℃以上の温水を通さない
また、給湯配管には絶対に接続しない

浄水器は給水用です。
35℃以上でご使用になると、浄水カートリッジが破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



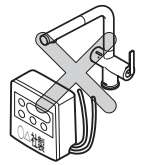
吐水口に汚れた手で触れない

吐水口周辺に一般細菌が増えやすくなり、体調を損なうおそれがあります。



他社の浄水カートリッジおよびイオン水生成器は取り付けない

本商品にはTOTO浄水カートリッジ（TK302B型）を取り付けてください。当社標準セット以外でご使用になった場合、浄水カートリッジが破損して水漏れにより、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



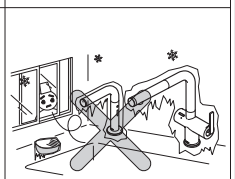
必ず実行

水道水および水道法の水質基準に適合した井戸水を使用する

故障や水漏れの原因となります。
また、体調を損なうおそれがあります。

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は 11. 寒冷地用の水抜き方法 を参照し、凍結予防を確実に行う

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2. 仕様

TKG12309型

電源電圧		AC100V　50/60Hz
消費電力	待機時	0.6W（最大値3W）
	動作時	0.8W（最大値5W）
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.1MPa（流動時）
	最高水圧	0.75MPa（静止時）
最高給湯温度	給水（浄水）	35℃以下
	給湯	85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
電源コード長さ		1350mm
駆動部コード長さ		800mm
給水・給湯接続		G1/2
用途		一般住宅台所用

TKG12311型

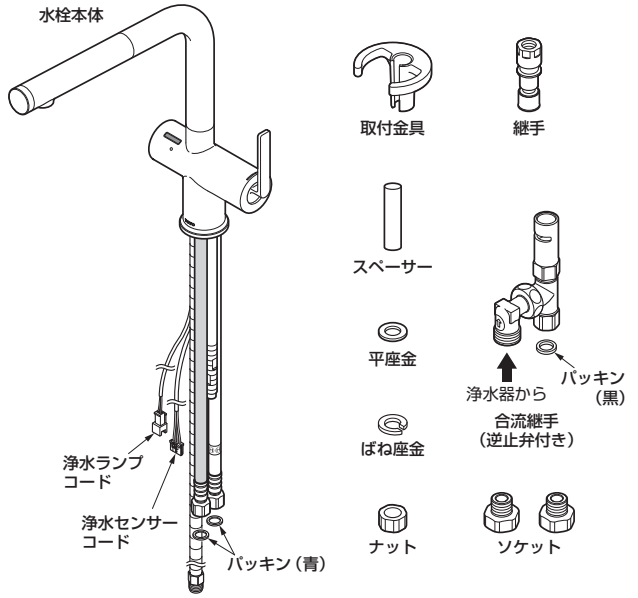
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa
	最高水圧	0.75MPa
給水給湯温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地	1～40℃
	寒冷地	−20～40℃ （ただし、0℃以下は水を抜いた状態）
給水・給湯接続		G1/2
用途		一般住宅台所用

3-1. 部品の確認

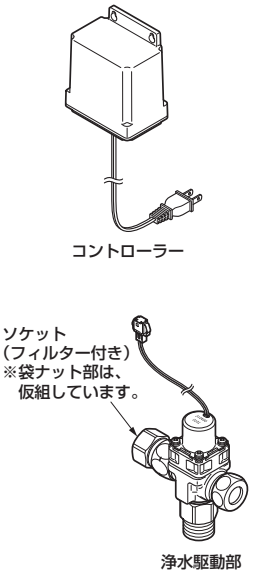
次の部品があることを確認してください。

浄水兼用タイプ

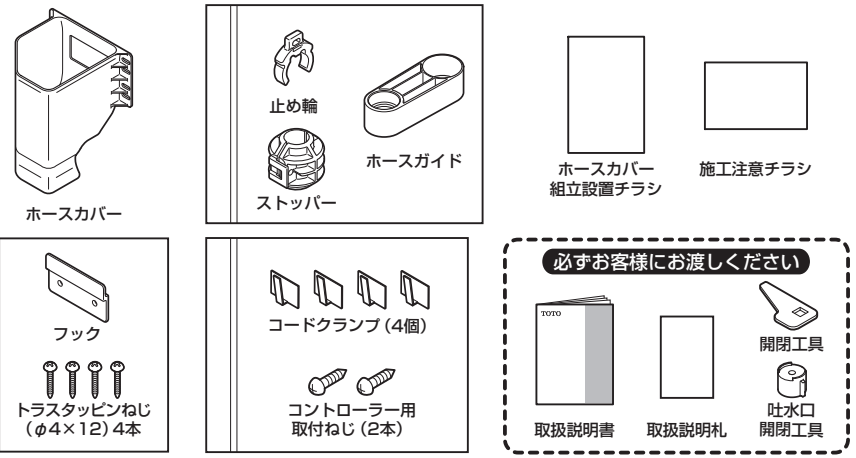
本　体　部



コントローラー・駆動部



その　他



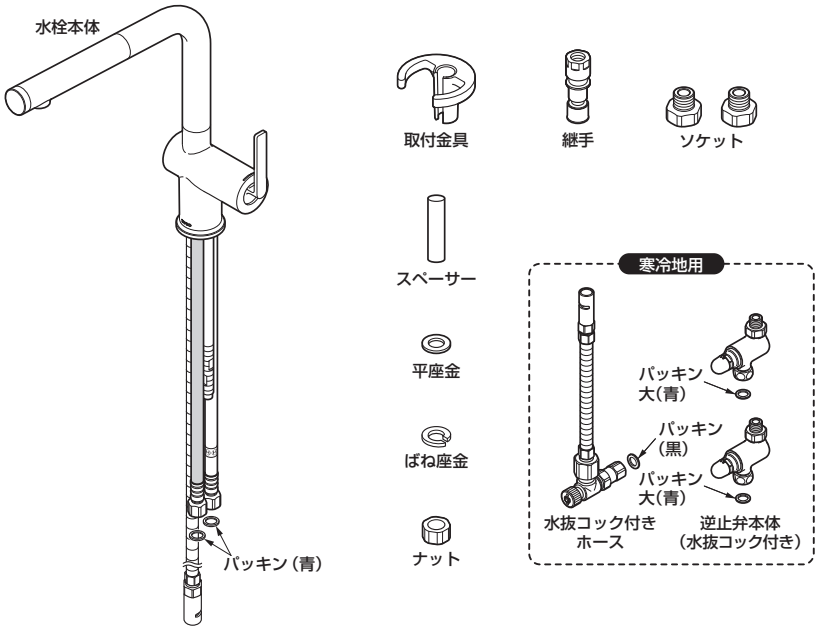
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

3-2.

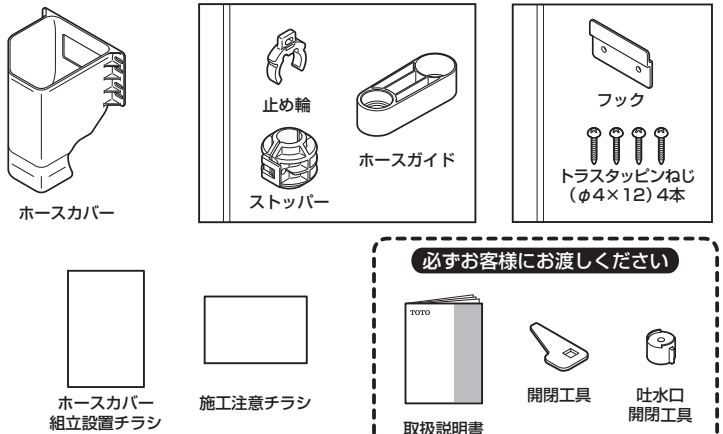
次の部品があることを確認してください。

浄水なしタイプ

本　体　部



そ　の　他



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

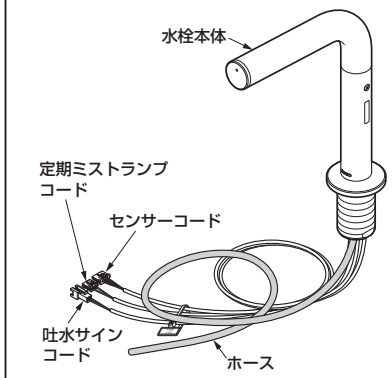
3-3.

その他の別梱品

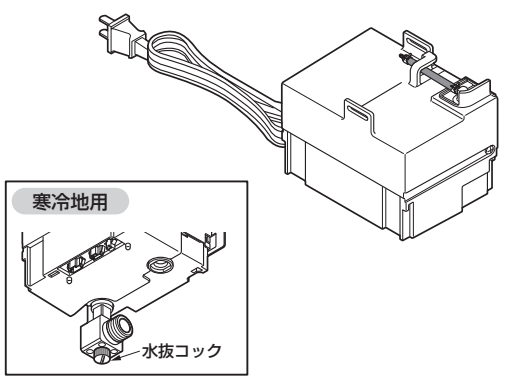
次の部品があることを確認してください。

別梱品（きれい除菌水ありの場合）

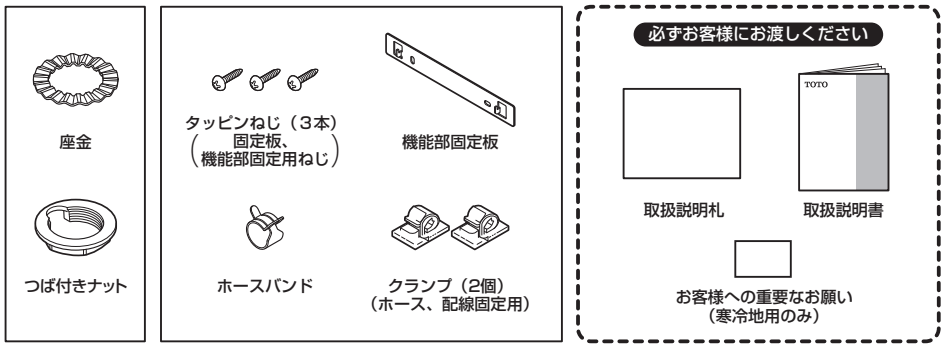
吐　水　部



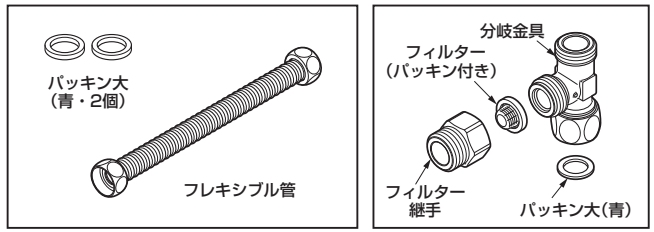
機　能　部



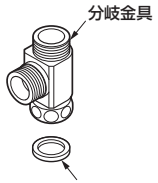
そ　の　他



別梱品（きれい除菌水ありの場合）



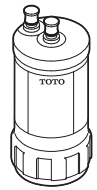
別梱品（浄水兼用タイプのみ）



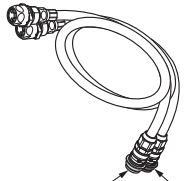
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

3-4.

別梱品（浄水カートリッジ）



浄水カートリッジ



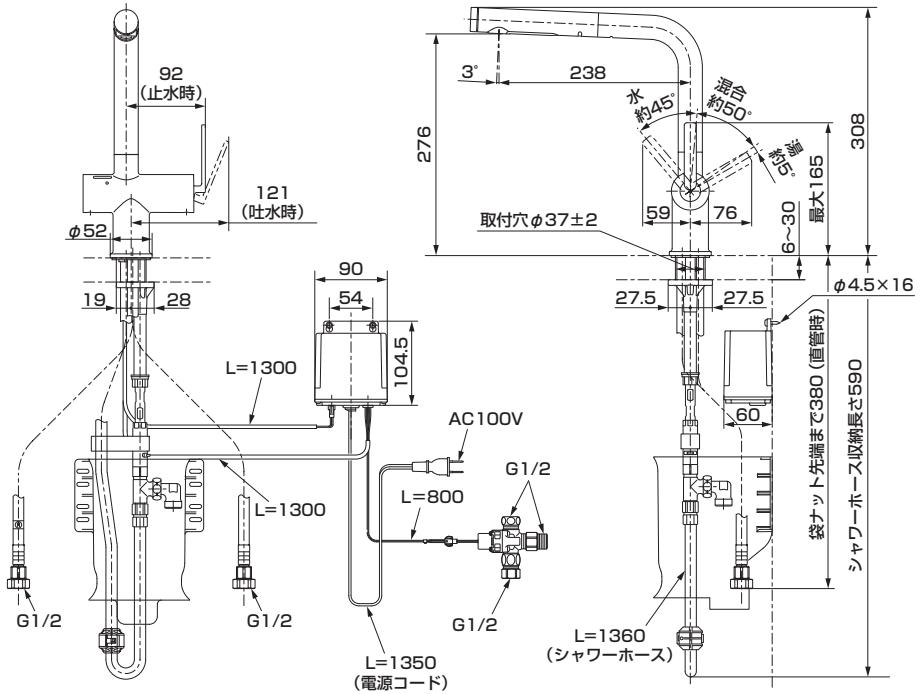
INホース（緑色）　吐水ホース（灰色）

4-1. 完成図

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

浄水兼用タイプ

（単位：mm）



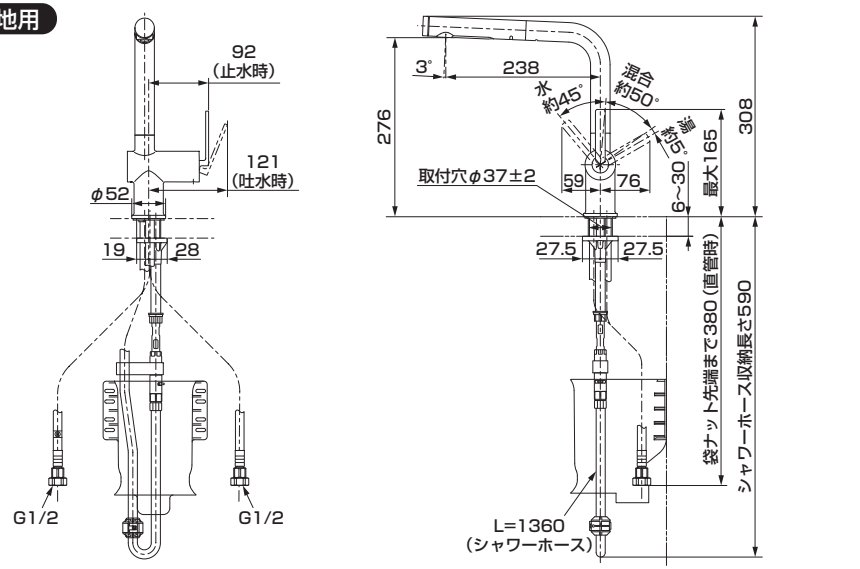
4-2.

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

浄水なしタイプ

一般地用

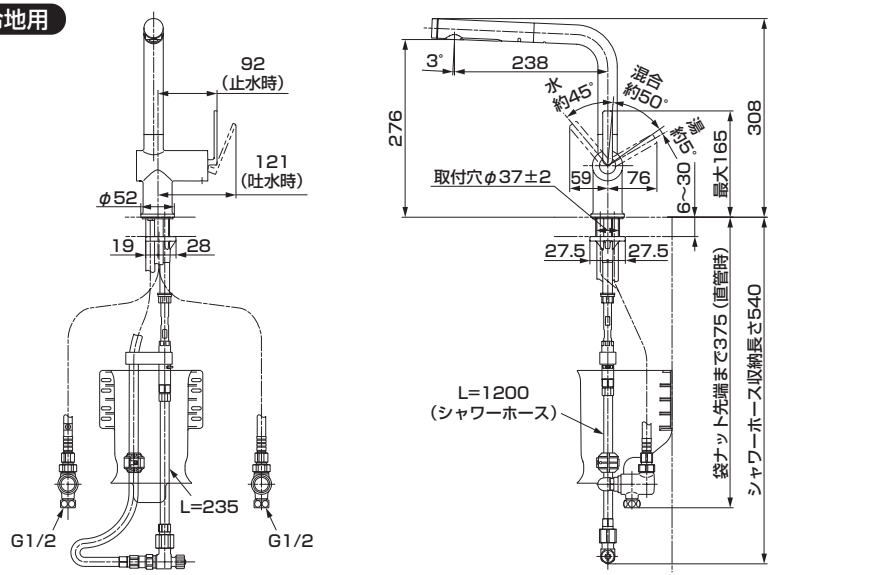
（単位：mm）



浄水なしタイプ

寒冷地用

（単位：mm）

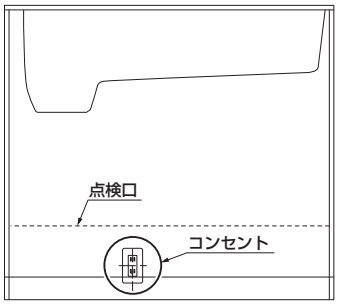


5. 取り付け前に

【混合水栓】

- ●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- ●誤操作などによるやけど防止のため、**給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるよう**にしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- ●瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。
- ●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- ●コントローラーや駆動部、コード類は、引き出しや収納物が当たらない位置に取り付けてください。
  コード類の断線や故障の原因となります。
- ●電源はAC100V(50/60Hz)、最高消費電力は5Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
- ●水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
  キッチンの給水配管要領に従ってください。
- ●センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- ●インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- ●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

【きれい除菌水】

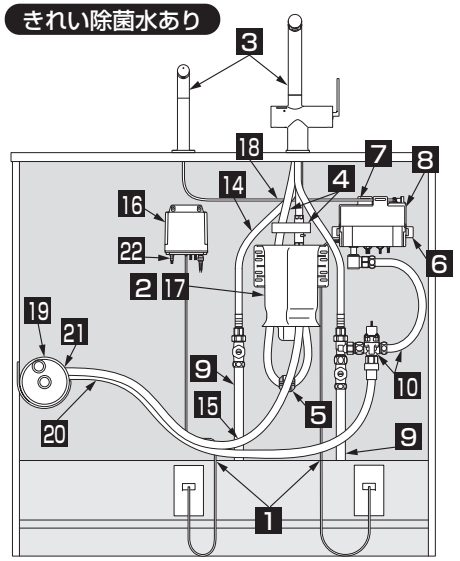


- ●給水圧力範囲は､0.07～0.75MPaです。
  この圧力範囲内でご使用ください。
- ●キャビネットの点検口内にコンセントが設置してあることを確認してください。
- ●機能部やホース、配線類は、引き出しや収納物が当たらない位置に取り付けてください。
  コード類の断線や故障の原因となります。
- ●電源はAC100V（50/60Hz）、消費電力は50Wです。
  必ずこれに適した配線をしてください。
- ●キッチンの給水配管要領に従ってください。
- ●水栓本体右側の障害物をセンサーが感知する場合があります。ご注意ください。
- ●センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- ●インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- ●梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

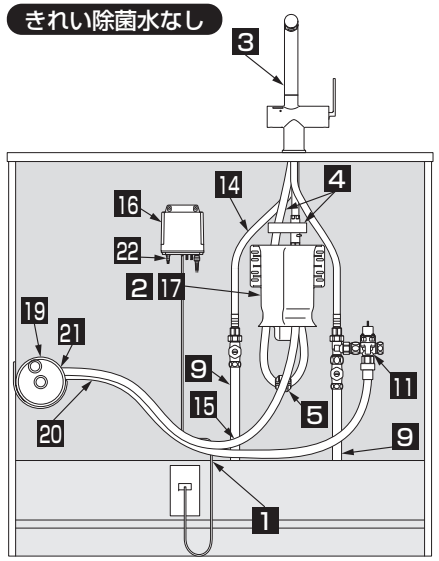
6-1. 施工手順

浄水兼用タイプ

きれい除菌水あり



きれい除菌水なし



施工手順 ※きれい除菌水がない場合は6～8、10、18の手順は不要

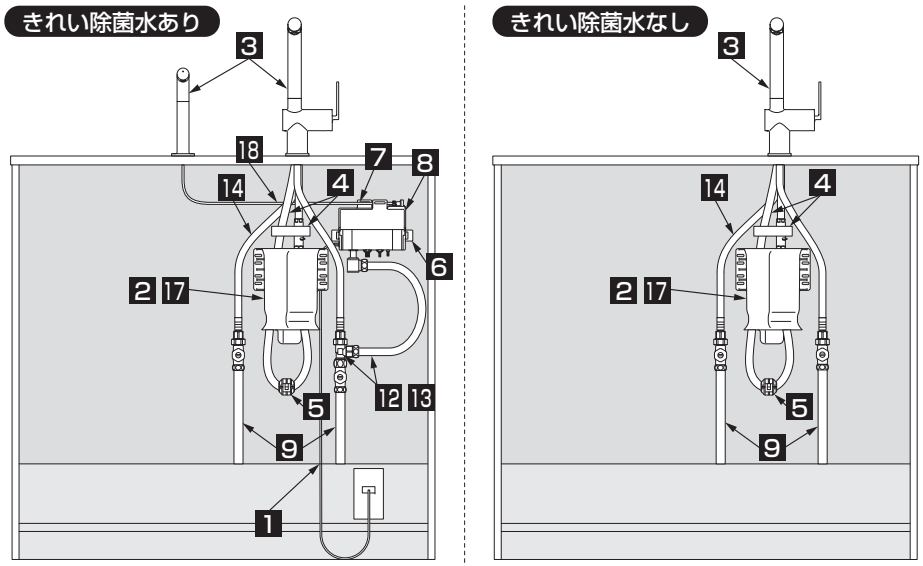
※パターン①：水道工事が同時実施でない場合　パターン②：水道工事を同時実施の場合

パターン①	キッチン施工業者様にて実施								水道工事店様にて実施														
パターン②									水道工事店様にて実施								キッチン施工業者様にて実施						
施工手順	1 点検口の切り欠き加工	2 ホースカバー取付準備	3 水栓本体の取り付け	4 ホースガイドとシャワーホースの取り付け	5 ストッパーの取り付け	※6 きれい除菌水機能部固定板の取り付け	※7 除菌ホースの取り付け	※8 きれい除菌水機能部の取り付け	9 止水栓の取り付けと給水・給湯管内の清掃	※10 浄水駆動部とフレキシブル管の取り付け	11 浄水駆動部の取り付け	14 給水・給湯ホースの接続	15 浄水ホースの接続	16 コントローラーの取り付け	17 ホースカバーの取り付け	※18 除菌ホースの固定	19 浄水カートリッジの取り付け	20 浄水ホースの固定・接続	21 ホースの接続	22 各コードの接続	試運転および調節	点検項目

※3 水栓本体の取り付け は、キッチンカウンター設置後に実施してください。

6-2.

浄水なしタイプ



施工手順 ※きれい除菌水がない場合は 1、6～8、12、18 の手順は不要
※一般地用の場合は 13 の手順は不要
※パターン①：水道工事が同時実施でない場合　パターン②：水道工事を同時実施の場合

パターン①	キッチン施工業者様にて実施								水道工事店様にて実施											
パターン②									水道工事店様にて実施								キッチン施工業者様にて実施			
施工手順	※1 点検口の切り欠き加工	2 ホースカバー取付準備	3 水栓本体の取り付け	4 ホースガイドとシャワーホースの取り付け	5 ストッパーの取り付け	※6 きれい除菌水機能部固定板の取り付け	※7 除菌ホースの取り付け	※8 きれい除菌水機能部の取り付け	9 止水栓の取り付けと給水・給湯管内の清掃	※12 分岐金具とフレキシブル管の取り付け	※13 逆止弁本体の取り付け	14 給水・給湯ホースの接続	17 ホースカバーの取り付け	※18 除菌ホースの固定	試運転および調節	点検項目				

※3 水栓本体の取り付け は、キッチンカウンター設置後に実施してください。

6-3.

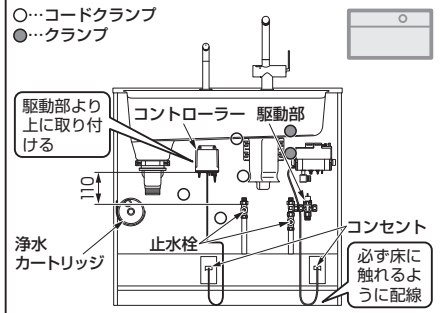
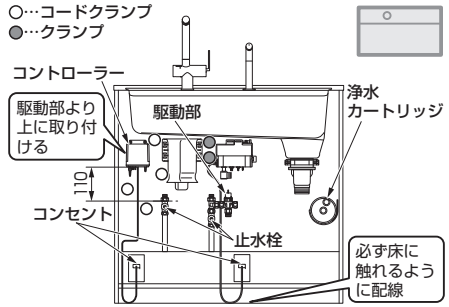
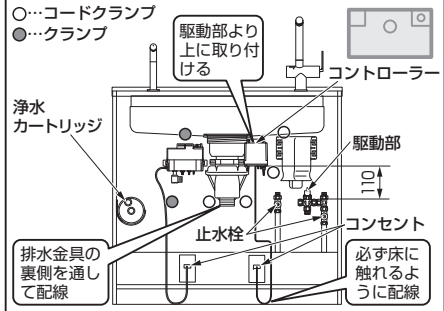
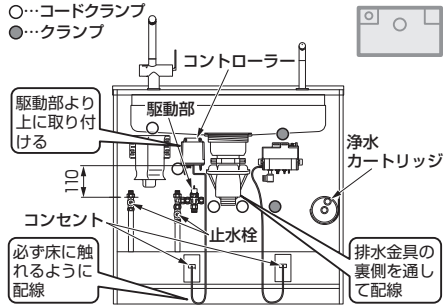
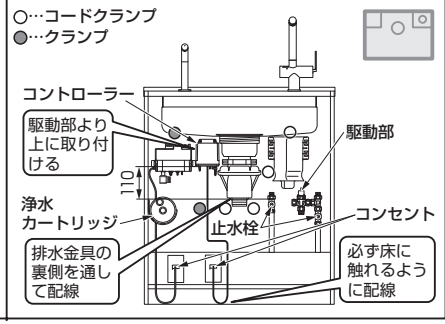
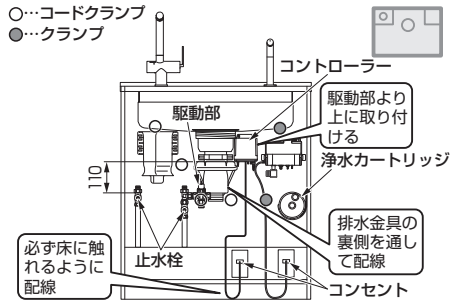
セットパターンの確認

以下のセットパターンを参照して、コントローラー・浄水カートリッジの取付位置と配線方法を確認してください。

浄水兼用タイプ　きれい除菌水あり

：コードクランプ取付箇所（4カ所）　：クランプ（ホース・配線）取付箇所（2カ所）

（単位：mm）

	シンク左仕様	シンク右仕様
スクエアすべり台シンク		
スペースアップシンク・スマイルクリーンシンク		
スペースアップシンクS・スマイルクリーンシンクS		

●全てのコードは安全のため、結露した水が付着したり、高温になる部分に接触しないようにしてください。また、シャワーホース引き出し時に引っかからないように、コードクランプで固定してください。
●電源コードはキャビネットおよび高温部に接触しないよう、余ったコードは配管スペース内に引き込み配線してください。また、電源コードを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

6-4.

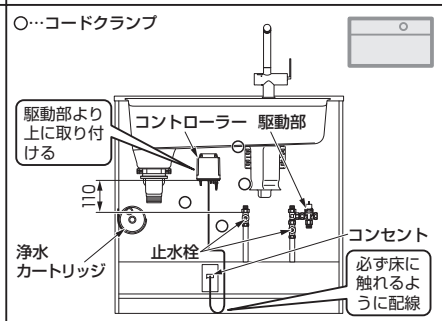
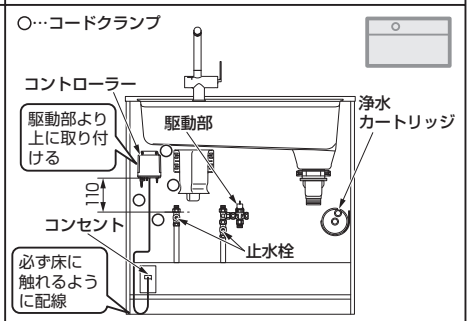
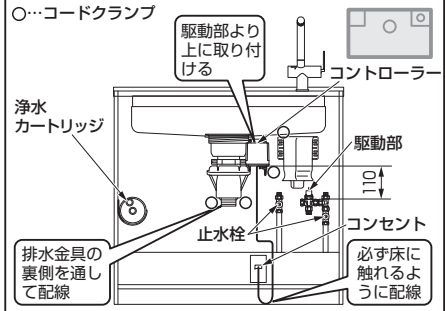
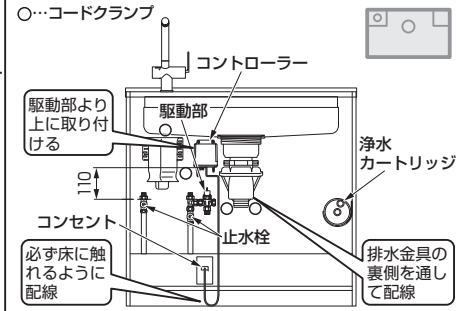
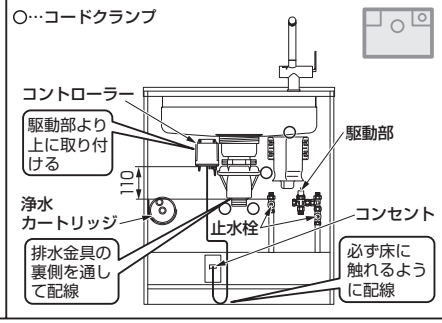
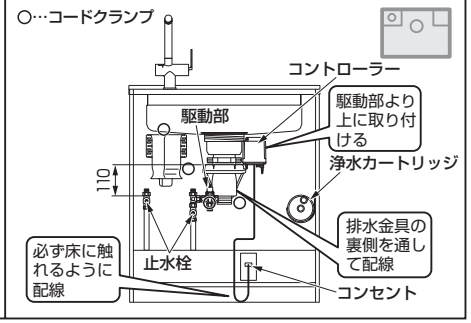
セットパターンの確認

以下のセットパターンを参照して、コントローラー・浄水カートリッジの取付位置と配線方法を確認してください。

浄水兼用タイプ　きれい除菌水なし

：コードクランプ取付箇所（4カ所）

（単位：mm）

	シンク左仕様	シンク右仕様
スクエアすべり台シンク		
スペースアップシンク・スマイルクリーンシンク		
スペースアップシンクS・スマイルクリーンシンクS		

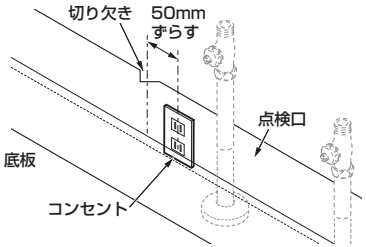
●全てのコードは安全のため、結露した水が付着したり、高温になる部分に接触しないようにしてください。また、シャワーホース引き出し時に引っかからないように、コードクランプで固定してください。
●電源コードはキャビネットおよび高温部に接触しないよう、余ったコードは配管スペース内に引き込み配線してください。また、電源コードを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

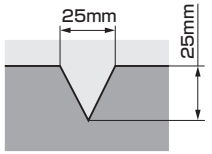
6-5.

1 点検口の切り欠き加工

点検口ありタイプのキャビネットの場合は、点検口へ電源コードを通すための切り欠き加工を行ってください。
切り欠き位置はコンセントのセンターから給湯管とは逆側に50mmずらしてください。
※コンセントの位置はシステムキッチンの施工図を確認してください。



※切り欠き例
ニッパーなどを使用して切り欠いてください。



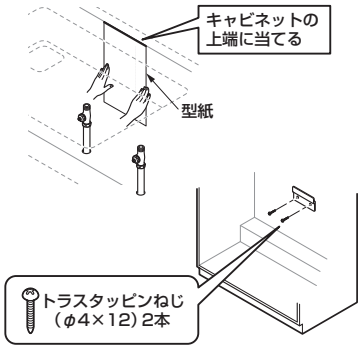
2 ホースカバー取付準備

①付属の型紙をキャビネットの裏板にあて、4カ所に下穴φ2mmをあける。

型紙のセンターラインを水栓本体の中心にあわせて位置決めしてください。

②中心側2カ所の下穴にあわせて、フックを取り付ける。

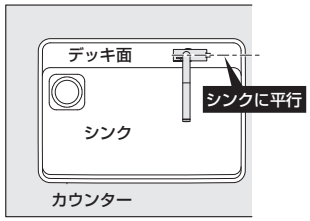
※電動ドライバーは使用しないでください。
※ホースカバー自体の取り付けは水栓本体取り付け後になります。



3-1 水栓本体の取り付け

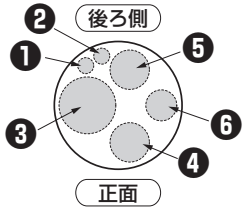
混合水栓の場合

①取付穴に浄水センサーコード、浄水ランプコード、シャワーホース、給水ホース（青）、給湯ホース、連結管の順番で通し、水栓本体がシンクに対して平行（ロゴが正面を向く）になるようにして仮固定する。



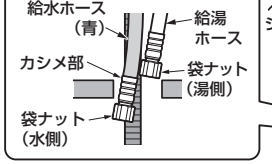
【各ホース・コードを通す順番】

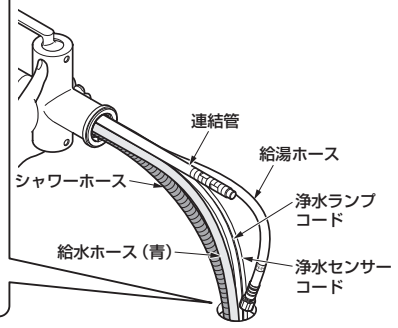
❶浄水センサーコード
❷浄水ランプコード
❸シャワーホース
❹給水ホース（青）
❺給湯ホース
❻連結管



ポイント

先に給水ホース（青）を通し、給湯ホースは給水ホースのカシメ部と給湯ホースの袋ナットが重ならないように、あとから通してください。





3-2 水栓本体の取り付け（つづき）

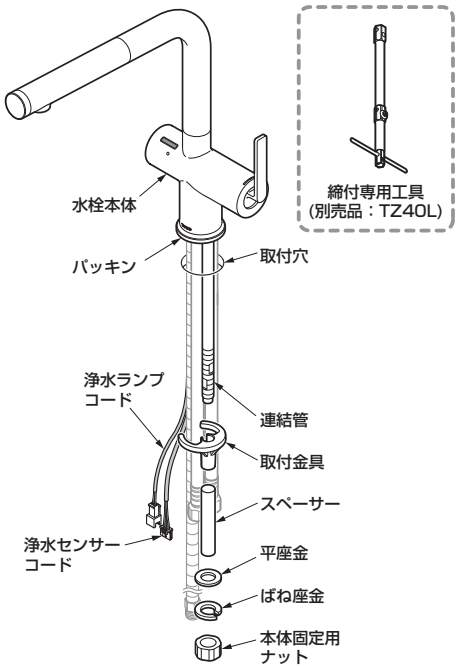
②連結管に取付金具、スペーサー、平座金、ばね座金、本体固定用ナットの順に差し込み、指定工具（TZ40L）で確実に締め付ける。

注 意

水栓はシンクに平行に取り付けてください。水栓の向きを調整する際は、固定ナットをゆるめてから行ってください。
水栓本体を固定した状態で本体を動かした場合、パッキンが破損し家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注 意

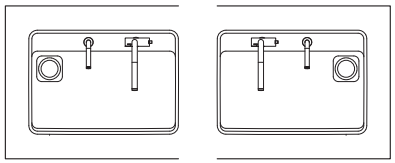
- **水栓本体が取付穴の中心にくるように固定してください。本体のガタツキがないように確実に締め付けてください。**
- **ステンレス製カウンターで補強板がない場合は固めの補強板（合板など）を取り付けてください。**
- **浄水センサーコード、浄水ランプコードをシンクと取付金具の間に挟みこまないようにしてください。**



きれい除菌水ありの場合

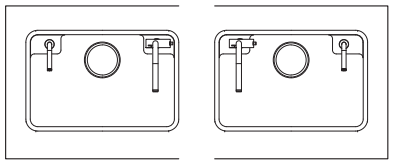
シンクの確認ときれい除菌水栓の設置位置を確認してください。

スクエアすべり台シンク



シンク左仕様　シンク右仕様

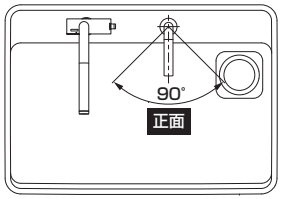
スペースアップシンク、スペースアップシンクS、
スマイルクリーンシンク、スマイルクリーンシンクS



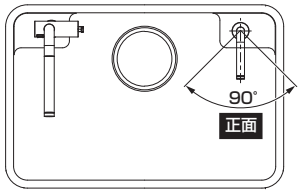
シンク左仕様　シンク右仕様

①スパウトの正面を確認する。
首ふり角度は90°になります。

スクエアすべり台シンク

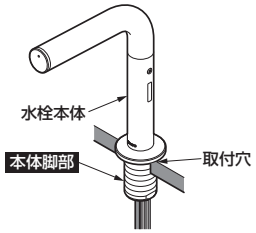


スペースアップシンク、スペースアップシンクS、
スマイルクリーンシンク、スマイルクリーンシンクS



3-3 水栓本体の取り付け（つづき）

②取付穴周囲の汚れを取り、水栓本体を取付穴に差し込む。



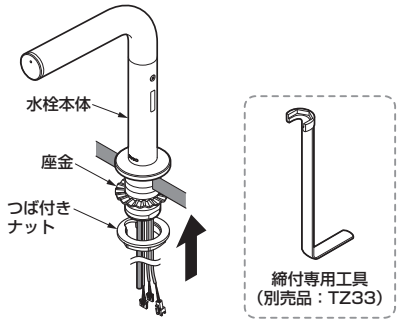
③水栓本体脚部に、座金、つば付きナットの順に通す。

④水栓本体のロゴが正面を向くように手締めで仮固定する。

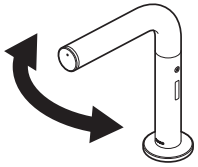
⑤つば付きナットを締付専用工具で固定する。

注 意

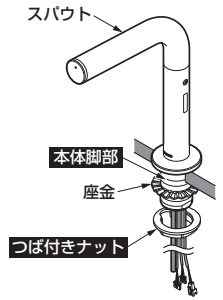
固定には締付専用工具（別売品：TZ33）を利用して確実に締め付けてください。



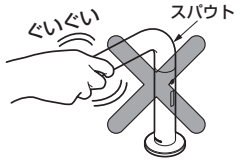
⑥スパウトの正面位置にずれがないか首ふり確認する。



正面位置にずれがある場合は、必ずつば付きナットをゆるめて、本体脚部を持って正面位置をあわせてください。



完全固定後のスパウト角度の手直しは、スパウトを持ってしないでください。
本体が破損するおそれがあります。



6-8.

4-1 ホースガイドとシャワーホースの取り付け

浄水兼用タイプの場合

①付属の継手を連結管に接続する。
継手は奥まで確実に締め付ける。

注 意

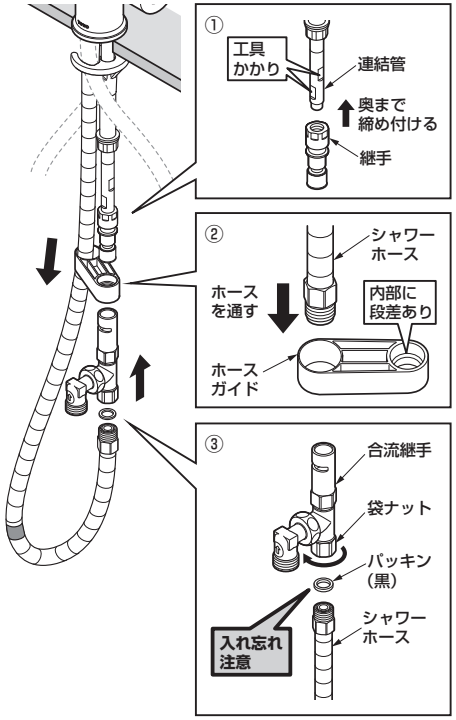
●継手を締め付ける際は、連結管の工具かかりをご使用ください。
●異物の付着がないことを確認してください。

②シャワーホースをホースガイドの穴に通す。

③シャワーホースを合流継手に接続する。

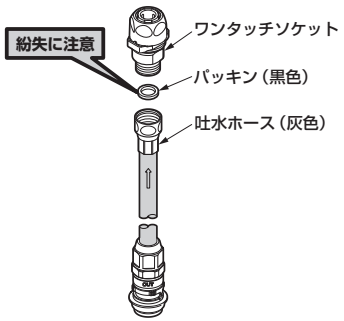
注 意

●パッキンが入っていることを確認してください。
●締め付けの際は、工具(モンキーレンチなど)を使用して、確実に締め付けてください。
●異物の付着がないことを確認してください。
●シャワーホースがねじれないように、合流継手の袋ナットを回して取り付けてください。



④浄水カートリッジ付属の吐水ホース（灰色）からワンタッチソケットを取り外す。
※パッキン（黒色）を紛失しないようにご注意ください。

※取り外したワンタッチソケットは使用しません。



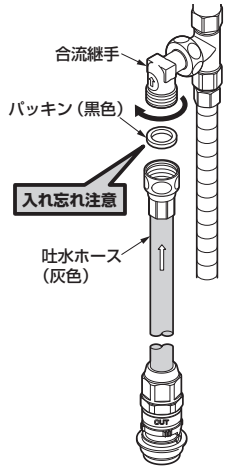
6-9.

4-2 ホースガイドとシャワーホースの取り付け（つづき）

⑤合流継手に吐水ホース（灰色）を取り付ける。

注 意

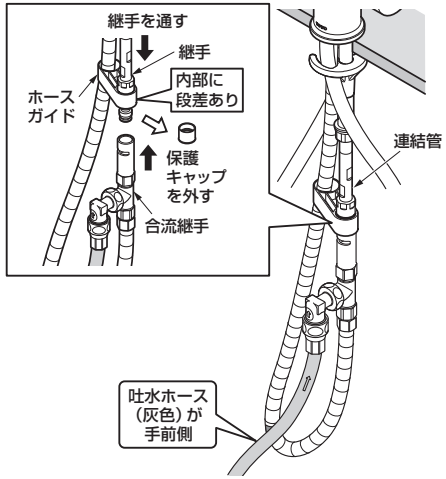
●パッキンが入っていることを確認してください。
●締め付けの際は、工具(モンキーレンチなど)を使用して、確実に締め付けてください。
●異物の付着がないことを確認してください。



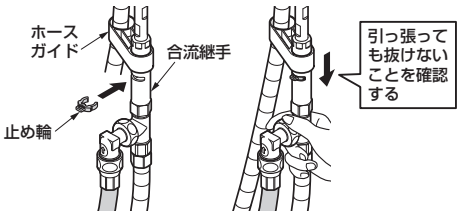
⑥継手に付いている保護キャップを取り外して、ホースガイドの穴に通し、合流継手に差し込む。
※吐水ホース（灰色）が連結管の手前側にくるように、合流継手の向きをあわせてください。

注 意

●合流継手接続時は、シャワーホースがねじれないように、取り付けてください。
●シャワーホースの張りで、合流継手の向きがあわない場合は、合流継手の袋ナットをゆるめて調整してください。



⑦止め輪を合流継手に差し込み、合流継手を引っ張っても抜けないことを確認する。



6-10.

4-3 ホースガイドとシャワーホースの取り付け（つづき）

一般地（浄水なしタイプ）の場合

①付属の継手を連結管に接続する。
継手は奥まで確実に締め付ける。

注 意

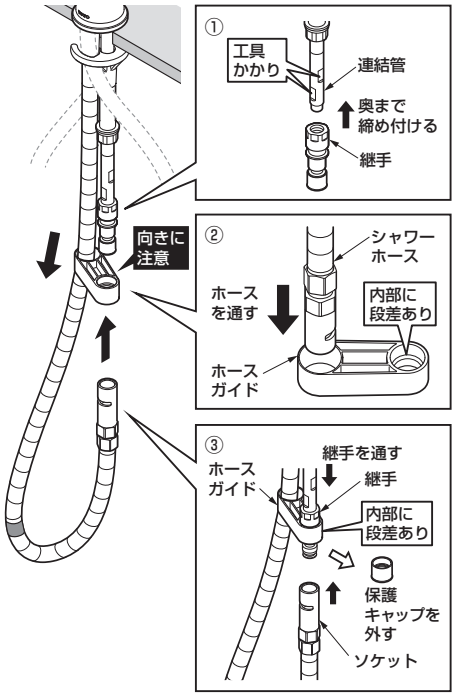
●継手を締め付ける際は、連結管の工具かかりをご使用ください。
●異物の付着がないことを確認してください。

②シャワーホースをホースガイドの穴に通す。

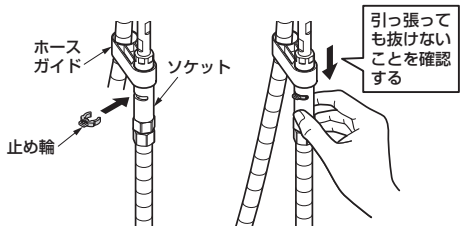
③継手に付いている保護キャップを取り外して、ホースガイドの穴に通し、ソケットを差し込む。

注 意

ソケット接続時は、シャワーホースがねじれないように取り付けてください。



④止め輪をソケットに差し込み、シャワーホースを引っ張っても抜けないことを確認する。



6-11.

4-4 ホースガイドとシャワーホースの取り付け（つづき）

寒冷地（浄水なしタイプ）の場合

①付属の継手を連結管に接続する。
継手は奥まで確実に締め付ける。

注 意

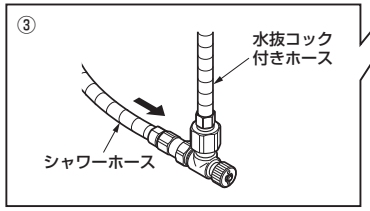
●継手を締め付ける際は、連結管の工具かかりをご使用ください。
●異物の付着がないことを確認してください。

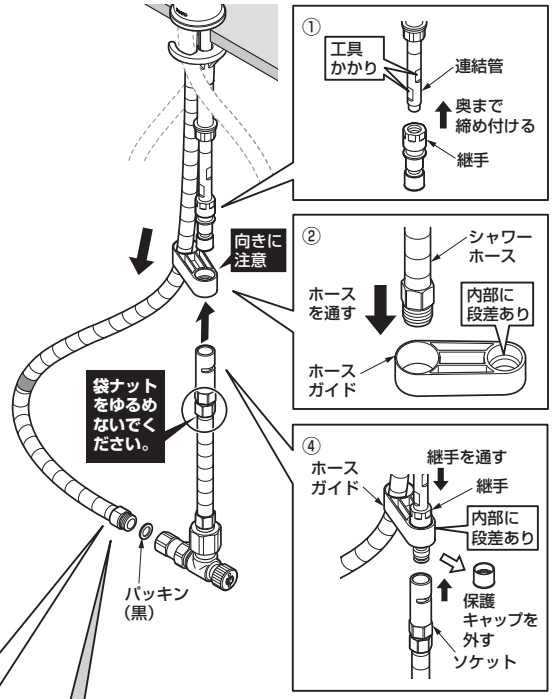
②シャワーホースをホースガイドの穴に通す。

③シャワーホースに水抜コック付きホースを取り付ける。

注 意

●パッキンが入っていることを確認してください。
●締め付けの際は、工具（モンキーレンチなど）を使用して、確実に締め付けてください。
●異物の付着がないことを確認してください。





注 意

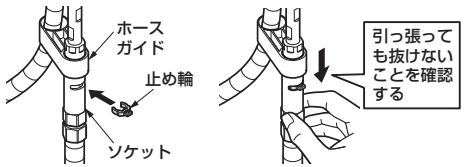
接続時、絶対にシャワーホース側のナットを回さないでください。ホース内部がねじれて、破損をするおそれがあります。

④継手に付いている保護キャップを取り外して、ホースガイドの穴に通し、ソケットを差し込む。

注 意

ソケット接続時は、シャワーホースがねじれないように取り付けてください。

⑤止め輪をソケットに差し込み、引っ張っても抜けないことを確認する。



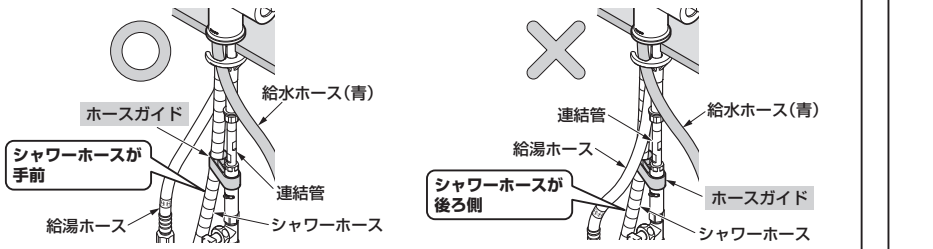
6-12.

4-5 ホースガイドとシャワーホースの取り付け（つづき）

ホースガイド施工上の注意点

重要

シャワーホースが給水・給湯ホースの手前にくるように取り付けてください。
シャワーホースが給水・給湯ホースの後ろになると、シャワーホースの引き出しが重くなります。

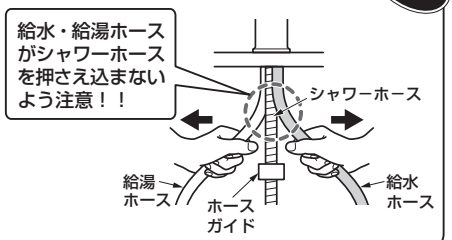


シャワーホース取り付け上の注意点

重要

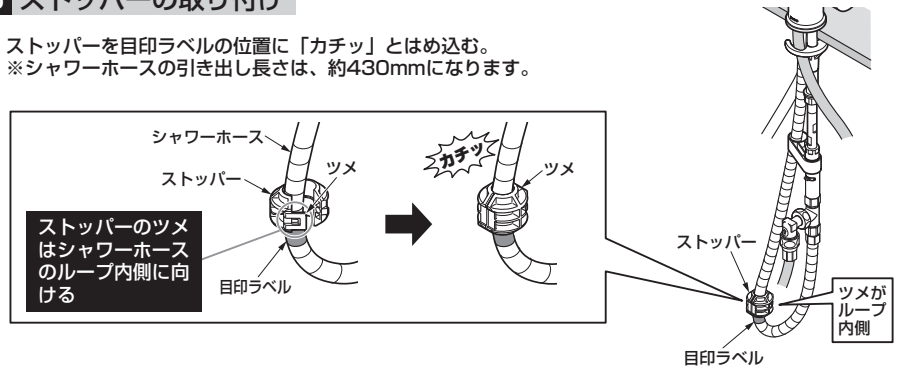
シャワーヘッドを引き出し、シャワーホースがスムーズに動くか確認してください。

シャワーホースがスムーズに動かない場合は、給水・給湯ホースがシャワーホースを押さえ込まないように、給水・給湯ホースを取り付けてください。
また、ホースガイドは必ず取り付けてください。



5 ストッパーの取り付け

ストッパーを目印ラベルの位置に「カチッ」とはめ込む。
※シャワーホースの引き出し長さは、約430mmになります。



6-13.

※きれい除菌水がない場合は 6 ～ 8、10、18 の手順は不要

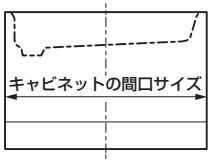
6-1 きれい除菌水機能部固定板の取り付け

きれい除菌水ありの場合

①シンクの種類を確認する。

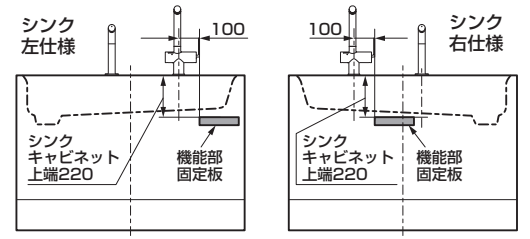
②キャビネットの間口サイズを確認する。

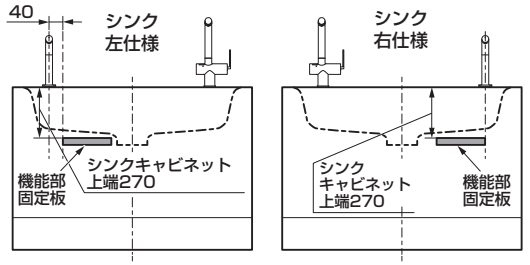
③下記表より機能部固定板の取付位置を確認する。

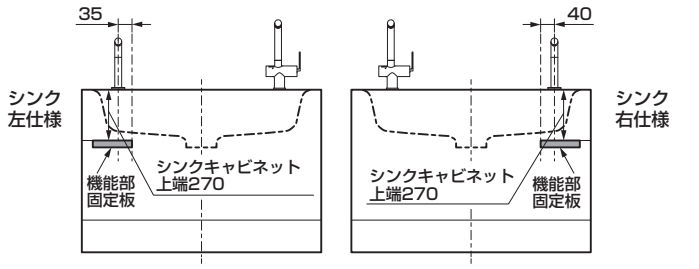


（単位：mm）

①シンクの種類	②間口		
	750mm	900mm	1050mm
スクエアすべり台シンク	—	機能部固定板は 裏板 に取り付ける	
スペースアップシンク・スマイルクリーンシンク	—		
スペースアップシンクS・スマイルクリーンシンクS			







6-14.

6-2 きれい除菌水機能部固定板の取り付け（つづき）

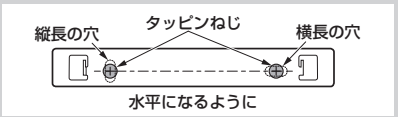
④機能部固定板が水平であることを確認してタッピンねじで固定する。（2カ所）

注 意

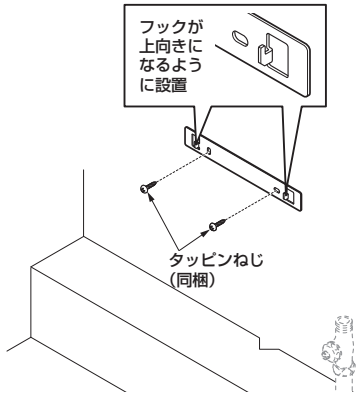
側板に取り付ける場合

下穴をあける際は貫通しないようにしてください。

注 意

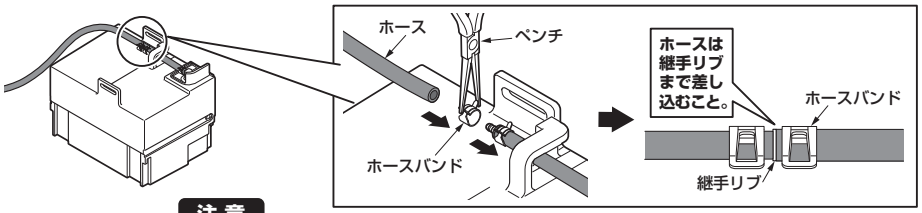


固定板は水平になるように調整してタッピンねじで固定してください。



7 除菌ホースの取り付け

ホースを接続し、同梱のホースバンドで止める。



注 意

ホースを抜き差しする際は真っすぐ水平に行ってください。

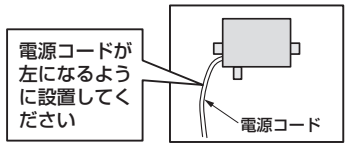
6-15.

8-1 きれい除菌水機能部の取り付け

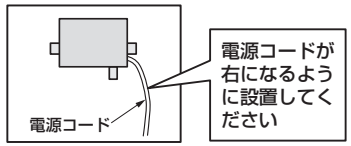
きれい除菌水ありの場合

①機能部の取り付け向きを確認する。

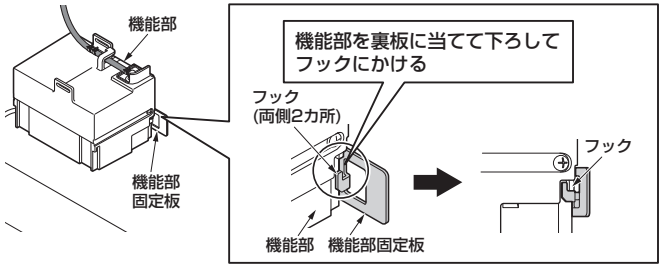
スクエアすべり台シンクの場合



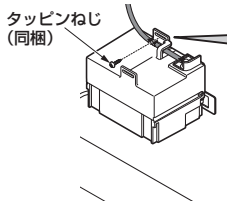
スペースアップシンク、スペースアップシンクS、スマイルクリーンシンク、スマイルクリーンシンクSの場合



②機能部固定板のフックに機能部を取り付ける。（2カ所）



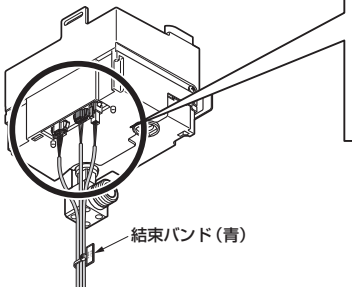
③機能部上側の横長穴部をタッピンねじでキャビネットに固定する。（1カ所）

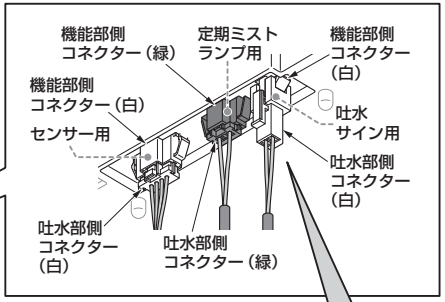


注 意

タッピンねじをつける際はホースを挟み込まないように注意してください。

④「きれい除菌水」と書かれた結束バンド（青）の付いている吐水部側のコネクター（緑）と（白）をそれぞれ機能部側のコネクター（緑）と（白）に「カチッ」と音がするまで確実に押し込む。
再度、押し込んで音がしないことを確認する。





注 意

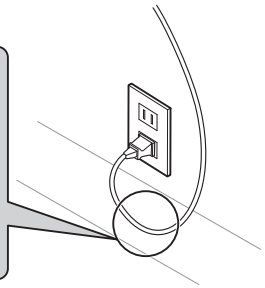
「カチッ」と音がするまで確実に押し込む。再度、押し込んで音がしないことを確認する。

8-2 きれい除菌水機能部の取り付け（つづき）

⑤電源コードを電源コンセントの位置まで配線する。

注 意

電源コードは高温部に接触しないようにしてください。余ったコードは点検口の切り欠き口から点検口内に引き込み配線してください。
また、電源コードを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。



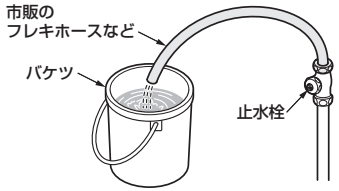
9 止水栓の取り付けと給水・給湯管内の清掃

重要

止水栓取り付け後、商品を取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

注 意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などが駆動部やフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。
①水が止まらない
②吐水量が少ない
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。



市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。

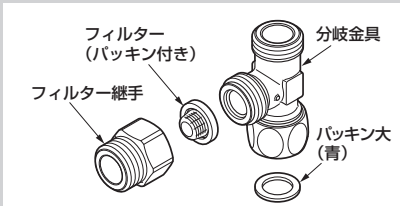
10-1 浄水駆動部とフレキシブル管の取り付け

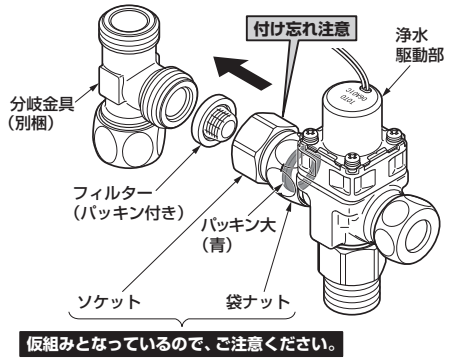
浄水兼用タイプ・きれい除菌水ありの場合

①浄水駆動部に仮組みされているソケットを分岐金具に接続する。

注 意

分岐金具（別梱）に付属のフィルター継手、フィルター（パッキン付き）は「きれい除菌水機能部」に接続しますので、紛失しないようにご注意ください。





仮組みとなっているので、ご注意ください。

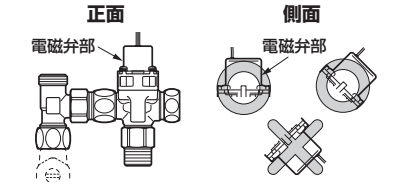
②浄水駆動部をソケットに確実に締め付ける。

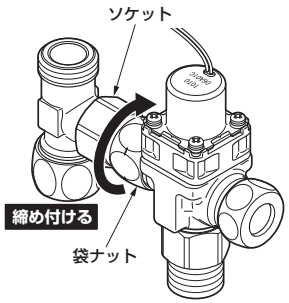
注 意

ソケットと袋ナットは仮組み状態のため、取り付け後は確実に締め付けてください。

注 意

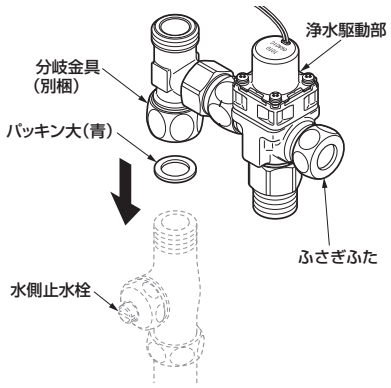
浄水駆動部は、電磁弁部が垂直上向きになるように固定してください。
取り合い上、垂直にできない場合は電磁弁部が必ず水平より上向きになるようにしてください。





③水側止水栓に浄水駆動部を接続した分岐金具を仮接続する。

※フレキシブル管を接続する際に分岐金具の位置調整をするため、締め付けないようにしてください。

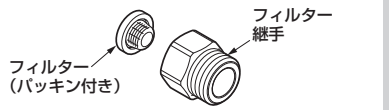


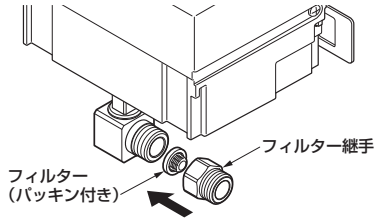
10-2 浄水駆動部とフレキシブル管の取り付け（つづき）

④フィルター継手（別梱）にフィルターが入っていることを確認して、機能部に継手を取り付ける。
※フィルターの付け忘れにご注意ください。
※フィルター継手は別梱にて付属しています。

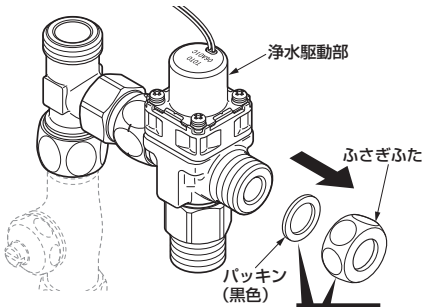
注 意

フィルターの向きに注意してください。





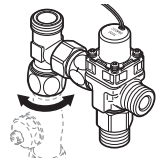
⑤浄水駆動部のふさぎふたを外す。
※ふさぎふたは使用しませんので、処分してください。
※ふさぎふたに使用しているパッキン（黒色）は使用しないでください。



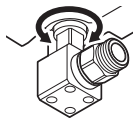
⑥フレキシブル管（別梱）を浄水駆動部に接続する。
（給水側と除菌水側ともに接続）
※ふさぎふたを外したねじ部に接続してください。

ポイント

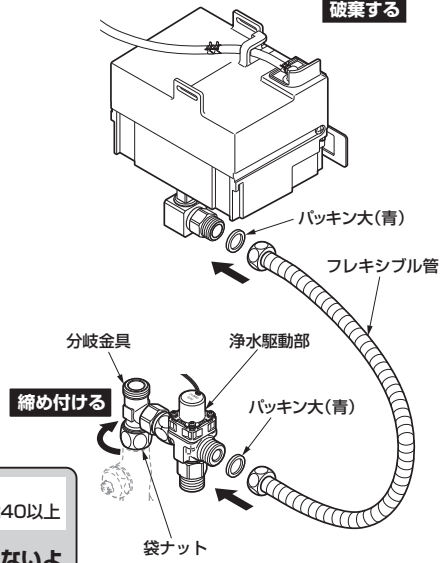
分岐金具部



給水継手部



フレキシブル管を取り付ける際は給水継手部と分岐金具部を回転させ調整してください。
※排水金具に工具が干渉する場合は分岐金具を水側止水栓に接続する前に浄水駆動部にフレキシブル管を接続してください。



⑦分岐金具の袋ナットを水側止水栓に締め付ける。

注 意

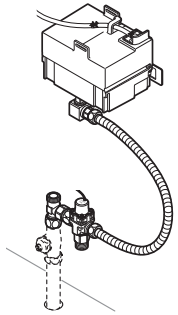
●フレキシブル管の曲げRは内側R40以上にしてください。

●フレキシブル管の取り回しは引き出しと干渉しないように接続してください。

10-3 浄水駆動部とフレキシブル管の取り付け（つづき）

フレキシブル管の取り回し例

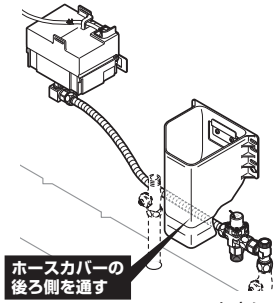
スクエアすべり台シンク
【シンク左仕様・右仕様共通】



フレキシブル管：L=230

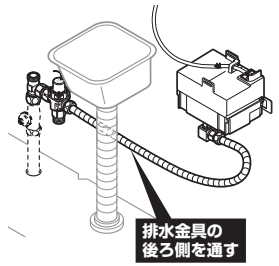
スペースアップシンク・スマイルクリーンシンク
スペースアップシンクS・スマイルクリーンシンクS

【シンク左仕様】



フレキシブル管：L=550

【シンク右仕様】



11 浄水駆動部の取り付け

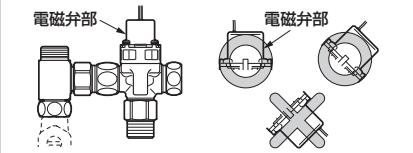
浄水兼用タイプ・きれい除菌水なしの場合

①浄水駆動部に仮組みされているソケットを分岐金具に接続する。

②浄水駆動部をソケットに確実に締め付ける。

注 意

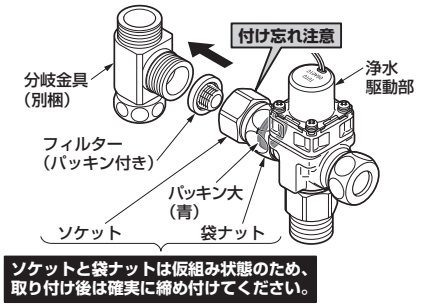
浄水駆動部は、電磁弁部が垂直上向きになるように固定してください。
取り合い上、垂直にできない場合は電磁弁部が必ず水平より上向きになるようにしてください。



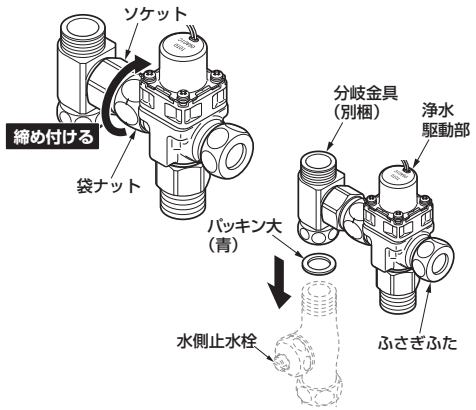
③水側止水栓に浄水駆動部を接続した分岐金具を接続する。

注 意

浄水駆動部のふさぎふたは外さないでください。



ソケットと袋ナットは仮組み状態のため、取り付け後は確実に締め付けてください。



6-20.

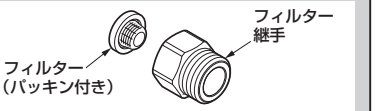
12-1 分岐金具とフレキシブル管の取り付け

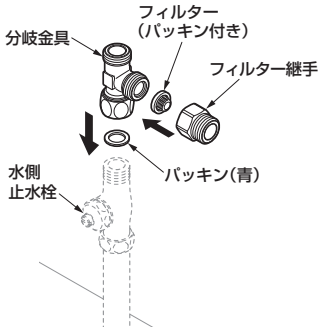
浄水なしタイプ・きれい除菌水ありの場合

①分岐金具にフィルター継手を接続する。

注 意

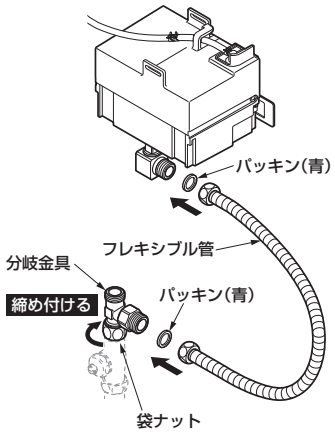
フィルターの向きに注意してください。





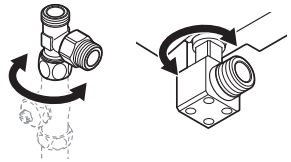
②水側止水栓に分岐金具を仮接続する。
※フレキシブル管を接続する際に分岐金具の位置調整をするため、締め付けないようにしてください。

③フレキシブル管両端にパッキン（同梱）を入れ分岐金具部に接続する。
（給水側と機能部側ともに接続）



ポイント

分岐金具部　給水継手部



フレキシブル管を取り付ける際は給水継手部と分岐金具部を回転させ調整してください。

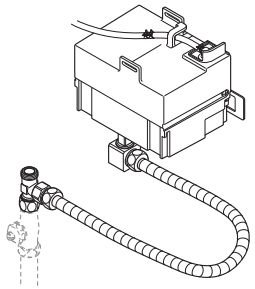
④分岐金具の袋ナットを水側止水栓に締め付ける。

6-21.

12-2 分岐金具とフレキシブル管の取り付け（つづき）

フレキシブル管の取り回し例

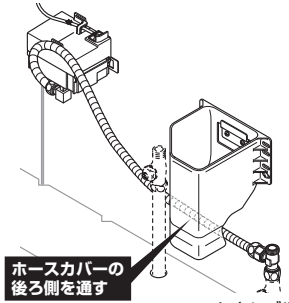
スクエアすべり台シンク
【シンク左仕様・右仕様共通】



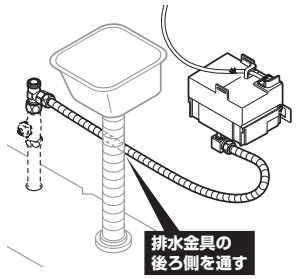
フレキシブル管：L=230

スペースアップシンク・スマイルクリーンシンク
スペースアップシンクS・スマイルクリーンシンクS

【シンク左仕様】



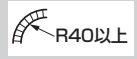
【シンク右仕様】



フレキシブル管：L=550

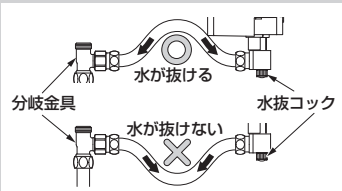
注 意

●フレキシブル管の曲げRは内側R40以上にしてください。
●フレキシブル管の取り回しは引き出しと干渉しないように接続してください。



注 意

＜寒冷地設置の場合＞
フレキシブル管内の水が抜けるように、必ず機能部の水抜コックと分岐金具接続部に向かって傾斜するように接続してください。

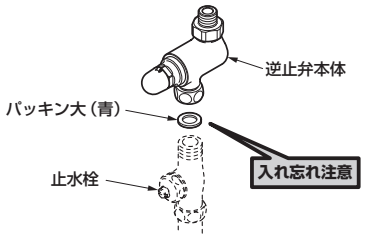


6-22.

13 逆止弁本体の取り付け

寒冷地（浄水なしタイプ）の場合

止水栓に逆止弁本体を接続する。

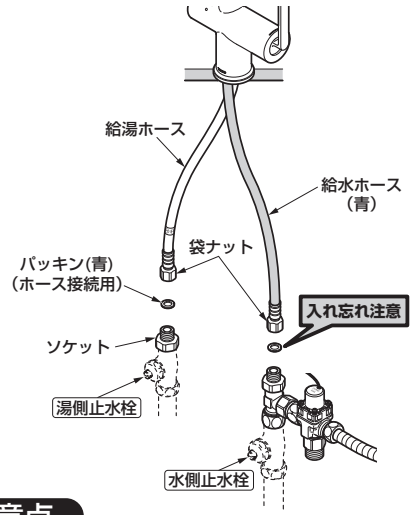


14 給水・給湯ホースの接続

給水・給湯ホースにパッキンがあることを確認し、ソケットに接続する。

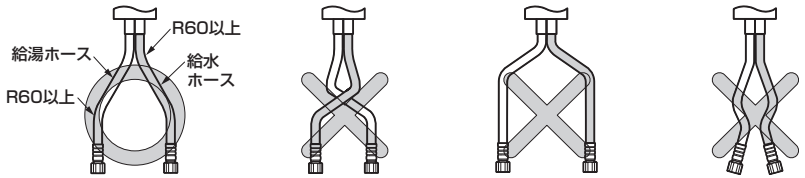
注 意

給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。



給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを 必要以上の力で曲げて 折らないように 注意してください。
  ホースの 最小曲げ半径は60mm です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを 水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで ください。
- ホースを 無理に引っ張らないで ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の 不要な接触は避けて ください。
  外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



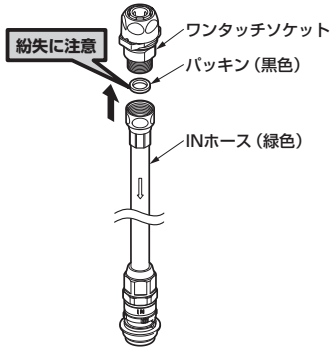
6-23.

15 浄水ホースの接続

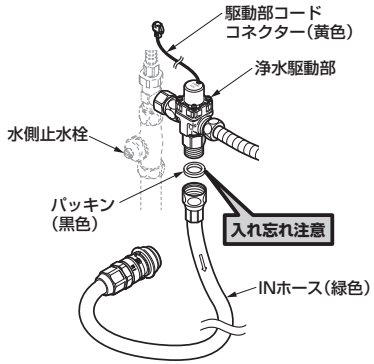
浄水兼用タイプの場合

①浄水カートリッジ付属のINホース（緑色）からワンタッチソケットを取り外す。
※パッキン（黒色）を紛失しないようにご注意ください。

※取り外したワンタッチソケットは使用しません。



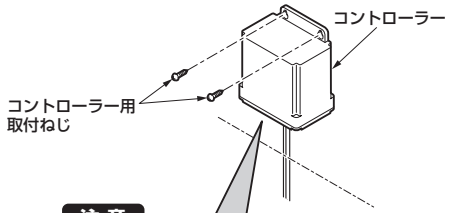
②浄水駆動部に浄水カートリッジ付属のINホース（緑色）を接続する。
※パッキン（黒色）の入れ忘れにご注意ください。



16 コントローラーの取り付け

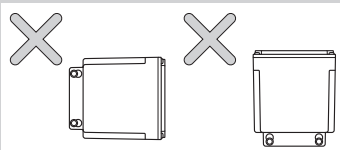
浄水兼用タイプの場合

コントローラーをコントローラー用取付ねじ（2本）で、駆動部よりも高い位置になるよう、キャビネット裏板に取り付ける。
※コントローラーの取り付け位置は、施工説明書の 6-3. 「セットパターンの確認」を参照ください。



注 意

コントローラー内に水が入らないようにするため、上下逆向きや横向きに取り付けないでください。



6-24.

17 ホースカバーの取り付け

※浄水カートリッジの吐水ホース（灰色）をホースカバーに通したあと、ホースカバーを取り付けてください。

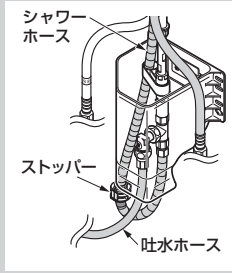
①浄水カートリッジの吐水ホース（灰色）をホースカバーに通す。

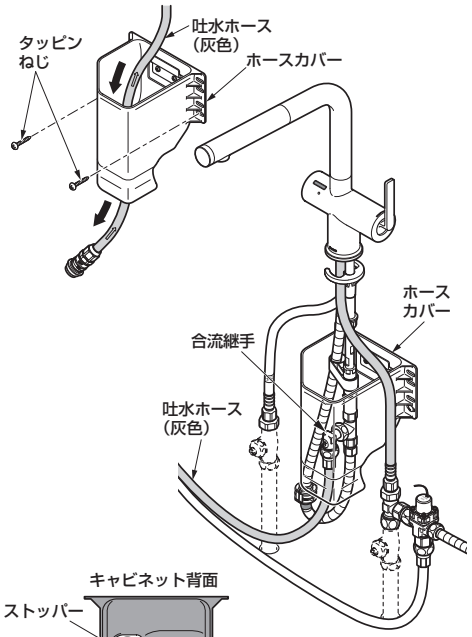
②ホースカバーを図のように取り付ける。

※取付位置は、同梱のホースカバー組立設置チラシを参照ください。

注 意

シャワーホースの向きに注意してください。
右図のようにストッパーが吐水ホースの後ろ側を通るように吐水ホースを手前側に向けてください。

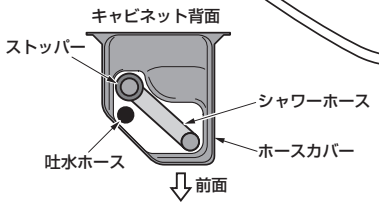




③ホースカバーをタッピンねじで固定する。

注 意

シャワーホースの動きに影響しないよう、吐水ホースはホースカバーの手前を通してください。



18 除菌ホースの固定

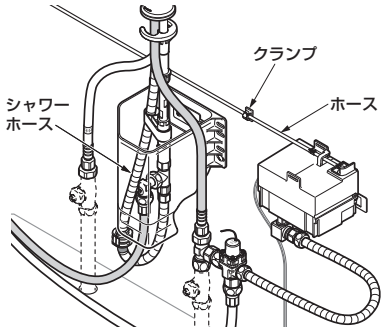
きれい除菌水ありの場合

クランプをキャビネット裏板に固定し、除菌ホースを固定する。

※配線パターンは、6-3「セットパターンの確認」を参照ください。

注 意

ホースがシャワーホースに干渉しないようにご注意ください。



6-25.

19 浄水カートリッジの取り付け

<横置き設置>

浄水カートリッジを浄水カートリッジホルダーでキャビネット側板に横置きに設置する。
※浄水カートリッジホルダーの設置方法については、「浄水カートリッジホルダー」の説明書を参照してください。

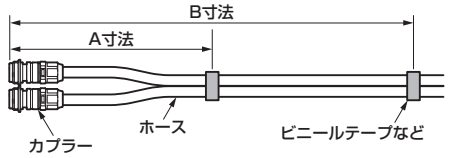
シンクパターンでの浄水カートリッジの位置は施工説明書の「6-3 6-4 セットパターンの確認」を参照ください。

20-1 浄水ホースの固定・接続

①ホース固定の準備

ホース固定位置でテープを束ねる。

カプラー先端より右図指示の位置で2本のホースをビニールテープなど（現場手配）で束ねてください。



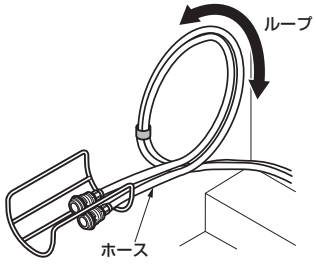
シンクの種類	間口寸法		
	750mm	900mm	1050mm
A寸法	300mm		
B寸法	900mm		700mm

図1のようにホースをループさせる。

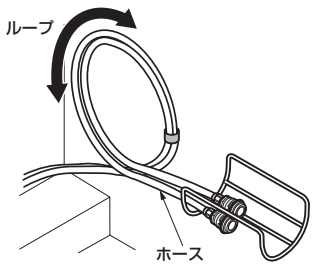
＜図1＞

スクエアすべり台シンク

【左側板の場合】

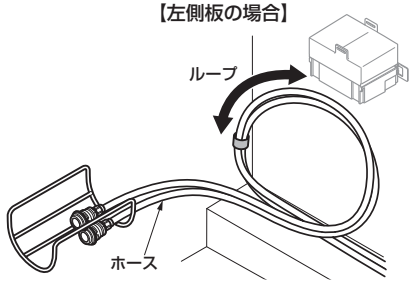


【右側板の場合】

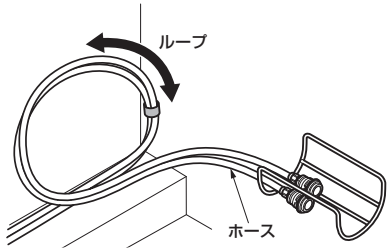


スペースアップシンク、スペースアップシンクS、スマイルクリーンシンク、スマイルクリーンシンクS

【左側板の場合】



【右側板の場合】



6-26.

20-2 浄水ホースの固定・接続（つづき）

②ホースのクランプ固定（2カ所）

注 意

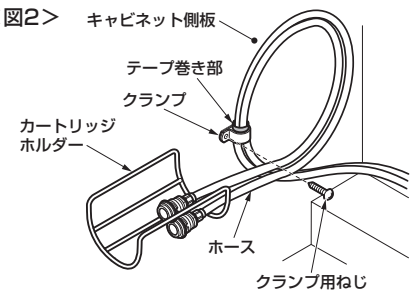
下記の点に注意して、ホースのテープ巻き部をクランプでキャビネット側板や裏板に固定してください。
- 引き出しに挟まれない、当たらない
- 配管スペースより前に垂れない
- 給湯配管に接触しない
- 無理に曲げない

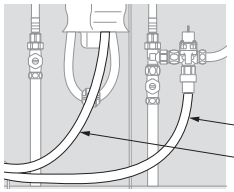
①図2のようにホースを浄水カートリッジホルダーに載せ、ホースのテープ巻き部をキャビネット側板下穴（φ2.5）にクランプで固定する。

②ホースが引き出しやレール、配管に当たらないよう図3を参考にキャビネット側板や裏板にクランプで固定する。（下穴はありません）

③ホースはキッチンの壁側を沿うようにして配管してください。

＜図2＞



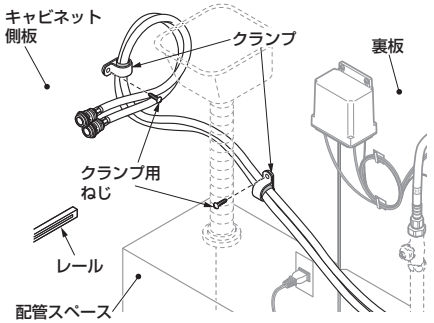


注 意

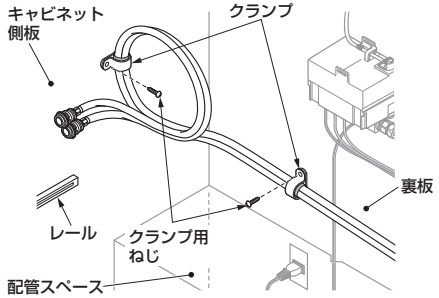
吐水ホースは給水・給湯管の手前を通してください。（床給水の場合）

＜図3＞

スクエアすべり台シンク



スペースアップシンク、スペースアップシンクS、スマイルクリーンシンク、スマイルクリーンシンクS



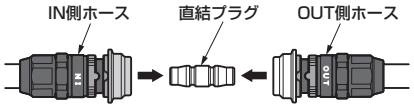
21 ホースの接続

浄水兼用タイプの場合

通水確認のため、IN側・OUT側ホースに浄水カートリッジに同梱されている **直結プラグ** を接続する。

注 意

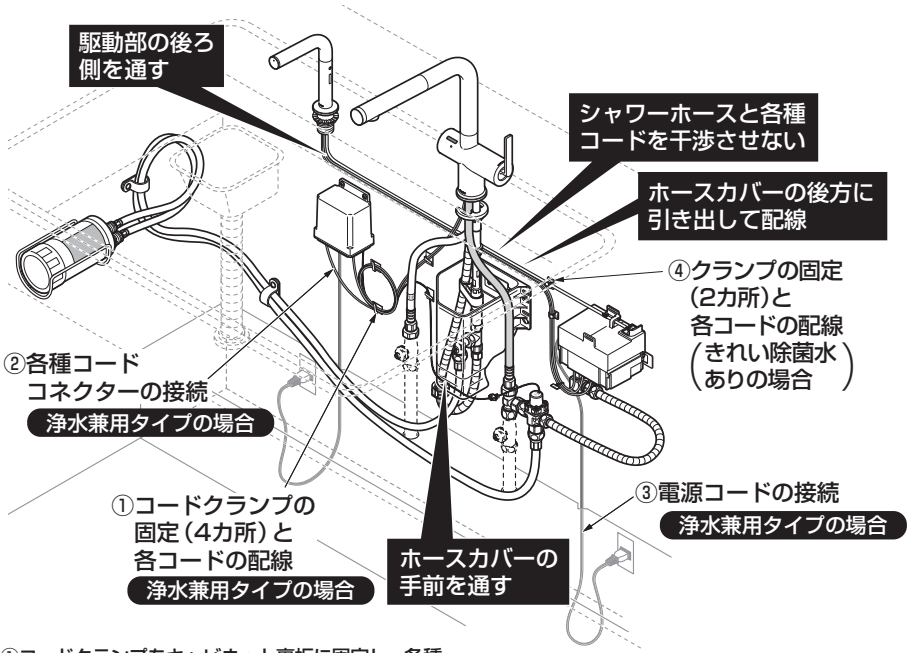
直結プラグに 異物の付着がないことを確認し ホースに 真っすぐ奥まで（「カチッ」と音がするまで）確実に差し込んでください。



浄水カートリッジ接続後に必ず「試運転および調節」と「点検項目」を実施してください。

6-27.

22-1 各コードの接続



①コードクランプをキャビネット裏板に固定し、各種コードを配線する。

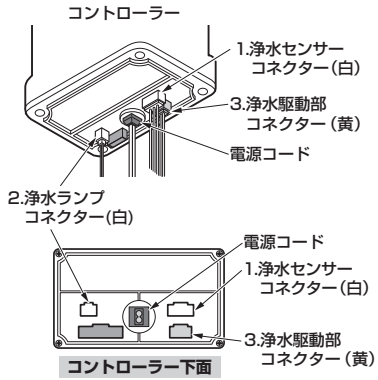
注 意

●駆動部コードは、シャワーホースとの接触を避けるため、駆動部の手前を通してください。
●浄水センサーコード・浄水ランプコードはシャワーホースとの接触を避けるため、ホースカバーの後ろ側を通してください。

※配線パターンは、6-3 6-4「セットパターンの確認」を参照ください。

②各種コードコネクターをコントローラー下面のコネクターに確実に差し込む。

【各コードコネクターを接続する順番】
1. 浄水センサーコネクター（白）
2. 浄水ランプコネクター(白)
3. 浄水駆動部コネクター（黄）



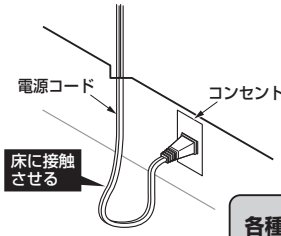
6-28.

22-2 各コードの接続（つづき）

③電源コードを電源コンセントの位置まで配線する。

注 意

電源コードはキャビネットおよび高温部に接触しないよう、余ったコードは切り欠き口から点検口内に引き込み配線してください。また、電源コードを伝ってコンセントに水がかからないよう、コンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。



④各種コードや配線を同梱のクランプで裏板に固定する。（きれい除菌水ありの場合）

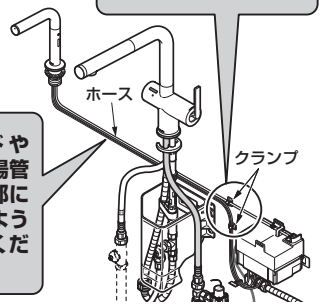
※配線パターンは、6-3 6-4「セットパターンの確認」を参照ください。

注 意

各種コードとホースを固定するクランプは別々にしてください。ホースがつぶれて吐水量不足になるおそれがあります。

注 意

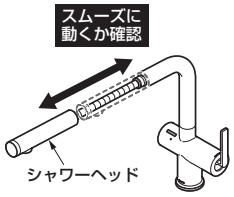
各種コードやホースは給湯管などの高温部に接触しないように固定してください。



取り付け後の確認と注意事項

シャワーヘッドを引き出し、シャワーホースがスムーズに動くか確認してください。
シャワーホースがスムーズに動かない場合は、下記の内容を確認してください。

- ●各種コードがシャワーホースに接触していないか。（P.38参照）
- ●ホースカバーを正しく取り付けているか。（P.35参照）
- ●給水・給湯ホースがシャワーホースを押さえ込んでいないか。（P.23参照）
- ●シャワーホースが止水栓などに引っかかっていないか。
- ●シャワーホースがねじれていないか。（P.19～22参照）
- ●ホースガイドを正しく取り付けているか。（P.19～23参照）
- ●ストッパーの取り付け位置は正しいか。（P.23参照）
- ●ストッパーが吐水ホースの後ろ側を通っているか。（P.35参照）
- ●吐水ホースがホースカバーの手前を通っているか。（P.35参照）
- ●吐水ホースが給水・給湯管の手前を通っているか。（P.37参照）



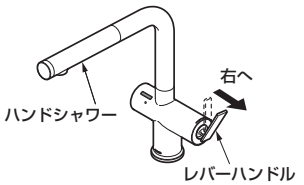
7-1. 試運転および調節

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転および調整を行ってください。

【混合水栓の場合】

1-1. 水出し確認

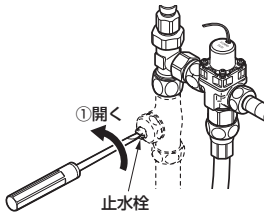
取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け（水側・湯側で2カ所あります）、ハンドシャワーから水が出るか確認してください。



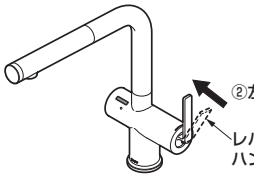
また、ハンドシャワーを引き出し、ホース接続部やすき間などから水漏れがないことを確認してください。

1-2. 水出し確認（浄水）

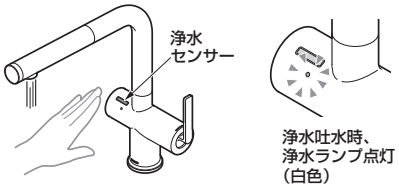
①止水栓を開く。



②レバーハンドルを閉じる。
※レバーハンドルが開の状態では、湯水が同時に吐水されます。



③浄水センサーに手をかざすと浄水ランプが点灯（白色）し、水が出ます。
（始めの30秒間は、浄水ランプが点滅（白色）します。）
もう一度手をかざすと止まります。
（吐水センサーに手をかざした場合も止まります。）



※浄水センサーに手をかざしても正常に動作しない場合
各コネクターが確実に接続されているか確認してください。
6-27.一22 各コードの接続 を参照ください。

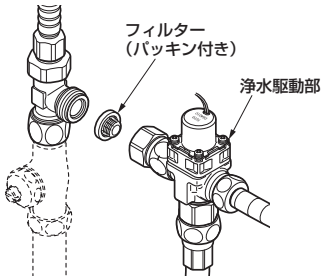
7-2.

2. フィルターの掃除（浄水駆動部）

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。

※フィルターを掃除する際は、**止水栓または元栓を確実に閉めたあと、ソケットを外し、フィルターを取り外してください。**

フィルター掃除後の駆動部の取り付けは、
6-17.－10 浄水駆動部とフレキシブル管の取り付け
6-19.－11 浄水駆動部の取り付け
を参照ください。



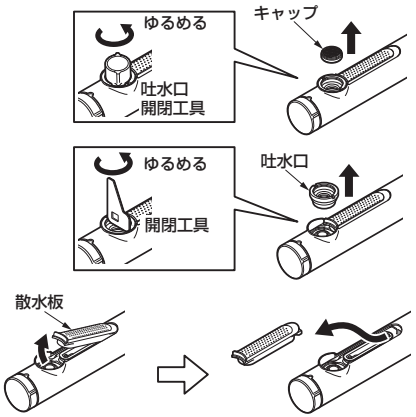
3. 吐水口・散水板の掃除

水出し確認後は必ず吐水口・散水板を掃除してください。

吐水口・散水板が詰まるとシャワーから水を出したときに流量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※吐水口を掃除する際は、必ずレバーハンドルを閉めてから行ってください。また、シャワーホースが熱くないことを確認してください。
（詳しくは取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください）

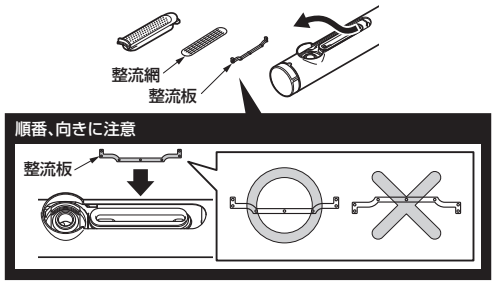
掃除が完了したあとは、接続部から水漏れがないことを確認してください。



注 意

※散水板を外すと整流網、整流板が一緒に外れることがあります。
※外れた場合は整流網、整流板を図と同じ順番および向きで組み付けてください。

※整流網、整流板の組み忘れや組み付け不良は、シャワーが乱れる原因となります。



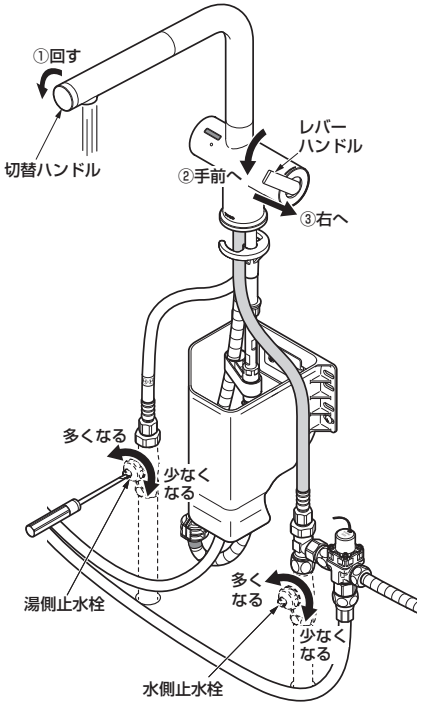
7-3.

4. 流量の調節

この水栓は、少ない水で洗い物ができる節水節湯型の水栓です。
レバーハンドル全開時の流量を 止水栓 で調節することで無駄な水の使用や水はねを抑えることができます。

①切替ハンドルを左に回して整流にする。
②レバーハンドルを手前（水側）いっぱいに回す。
③レバーハンドルを右いっぱいに動かして、全開とする。
④水を出す。
⑤流量が6L/分程度（目盛りのついた計量カップなどで500mlが約5秒）になるように水側止水栓で調節する。
⑥レバーハンドルを後ろ側（湯側）いっぱいにし、③～⑤と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

給水圧力・給湯圧力が低い場合は、止水栓を全開にしても流量が記載の流量にならないことがあります。

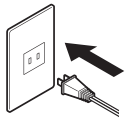


7-4.

【きれい除菌水ありの場合】

1. 電源を入れる

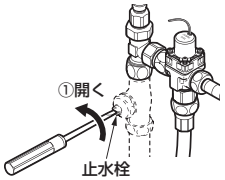
電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
※電気工事中の場合、仮設電源（AC100V）に接続してください。

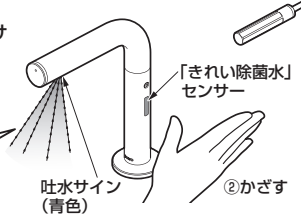


2. 水出し確認

①止水栓を開く。

②センサーに手をかざす。
「きれい除菌水」が出て吐水サイン（青色）が点灯します。約14秒後に自動で止まります。
吐水中にセンサーに手をかざすと約3秒間、吐水サインが点滅し止水します。

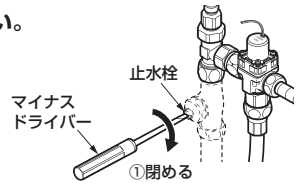




3-1. フィルターの掃除（浄水兼用タイプの場合）

試運転後は必ずフィルターを掃除してください。
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、
十分な機能が発揮されなくなります。

①止水栓または元栓を確実に閉める。

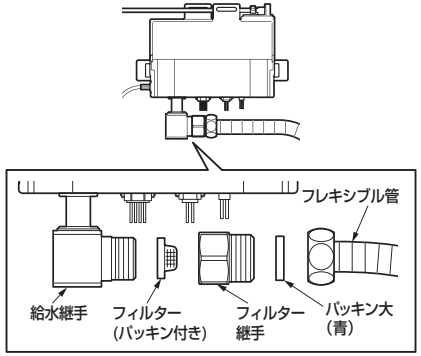


②フィルター継手からフレキシブル管のナットを外す。
給水継手からフィルター継手を外す。

③フィルター継手からフィルターを外し、清掃する。

注 意

フィルター清掃後は、図の通りに給水継手にフィルター継手、フレキシブル管を確実に締め付けしてください。



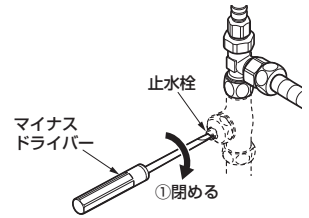
フィルターの向きに注意してください。

7-5.

3-2. フィルターの掃除（浄水なしの場合）

試運転後は必ずフィルターを掃除してください。
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、
十分な機能が発揮されなくなります。

①止水栓または元栓を確実に閉める。

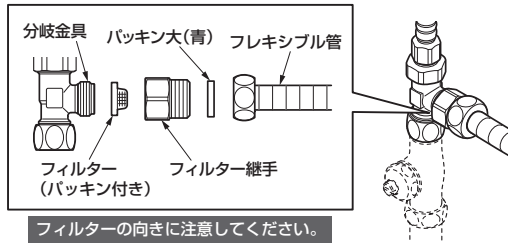


②フレキシブル管のナットを外す。
分岐金具からフィルター継手を外す。

③フィルター継手からフィルターを外し、清掃する。

注 意

フィルター清掃後は、図の通りにフレキシブル管のナット、フィルター継手を確実に締め付けしてください。

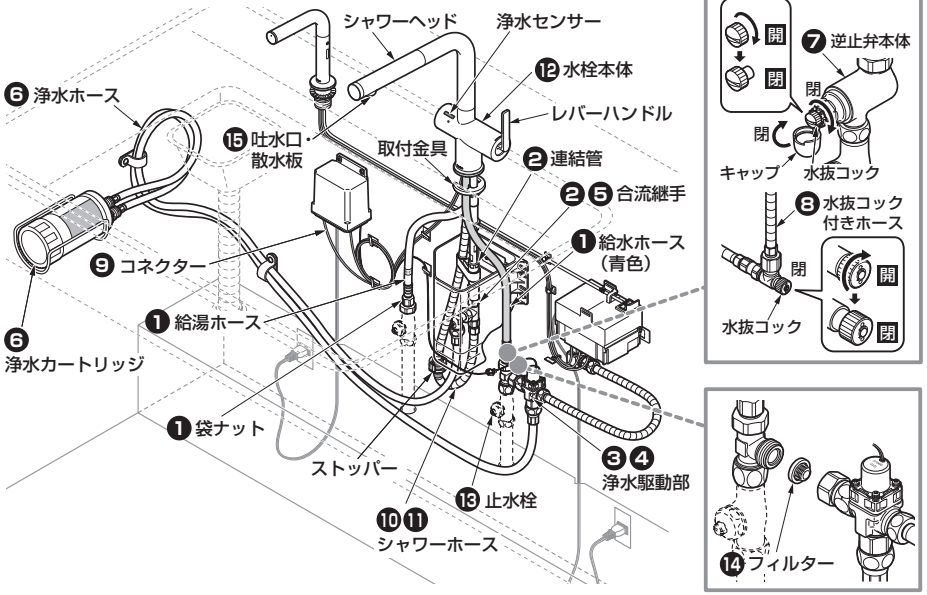


フィルターの向きに注意してください。

8-1. 点検項目

【混合水栓の場合】

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶給水・給湯ホースは袋ナットでソケットに確実に接続されていますか？

↳ 6-22.－14 給水・給湯ホースの接続 参照

❷合流継手は連結管にしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-8.－4-1 ホースガイドとシャワーホースの取り付け 参照

❸浄水駆動部の水漏れはないですか？

↳ 6-17.－10-1 浄水駆動部とフレキシブル管の取り付け 参照

❹INホース（緑）は、浄水駆動部にしっかり接続されていますか？

↳ 6-23.－15 浄水ホースの接続 参照

❺吐水ホース（灰色）は、合流継手にしっかり接続されていますか？

↳ 6-8.－4-1 ホースガイドとシャワーホースの取り付け 参照

❻浄水ホースは、浄水カートリッジに確実に接続されていますか？

↳ 6-25.－19 浄水カートリッジの取り付け 参照

寒冷地用の場合

❼水抜コックは、しっかり閉まっていますか？また、キャップはセットされていますか？

↳ 水抜コックを閉める。
キャップをセットする。

❽水抜コックは、しっかり閉まっていますか？

↳ 水抜コックを閉める。

8-2.

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

❾コネクターはしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-27.－22 各コードの接続 参照

動作確認

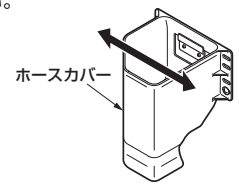
シャワーヘッド引き出し動作はスムーズに行えるか確認してください。

❿施工は正しく行われていますか？

⓫各コードがシャワーホースの引き出しの際に接触していませんか？

↳ 6-28.－22-2 取り付け後の確認と注意事項 参照

シャワーヘッド引き出し動作がスムーズにいかない場合は、ホースカバーを左右に調整し、再度、シャワーヘッド引き出し動作を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⓬水栓本体の本体固定用ナットのゆるみはないですか？

↳ 6-5.－3 水栓本体の取り付け 参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、以下の項目を確認してください。

⓭止水栓は開いていますか？

↳ 7-3. 4. 流量の調節 参照

⓮フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ 7-2. 2. フィルターの掃除（浄水駆動部） 参照

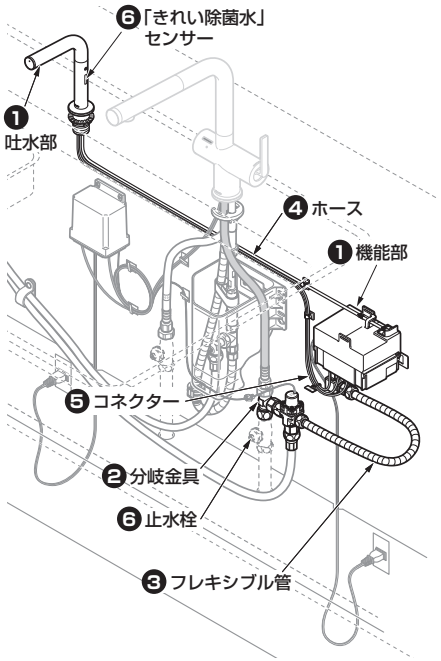
⓯吐水口・散水板にごみ詰まりはありませんか？

↳ 7-2. 3. 吐水口・散水板の掃除 参照

8-3.

【きれい除菌水ありの場合】

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❶吐水部および機能部にガタツキがないですか？

→ 6-6.－3-2 水栓本体の取り付け 参照

→ 6-13.－6 きれい除菌水機能部固定板の取り付け 参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❷分岐金具部の水漏れはないですか？

→ 6-17.－10 浄水駆動部とフレキシブル管の取り付け 参照

❸フレキシブル管部の水漏れはないですか？

→ 6-17.－10 浄水駆動部とフレキシブル管の取り付け 参照

❹ホースは機能部に接続していますか？

→ 6-14.－7 除菌ホースの取り付け 参照

動作確認

動作はスムーズに行えるか確認してください。

❺コネクターがしっかり差し込まれていますか？

→ 6-15.－8 きれい除菌水機能部の取り付け 参照

❻センサーに手をかざして「きれい除菌水」が噴霧されますか？

止水栓は開いていますか？

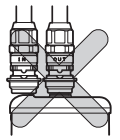
→ 7-4. 2. 水出し確認 参照

9-1. お引き渡し準備

施工後、ご入居までに時間がかかる場合

浄水カートリッジは **接続しない** でください。
（お客様が実際に使用するときに接続します）

浄水カートリッジは、流し台の上に箱ごと置いてください。



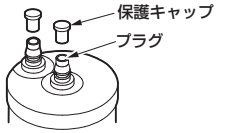
重要

施工後、お客様がすぐに使用する場合

❶浄水ホースから直結プラグを取り外す。

❷保護キャップを外す。

新しい浄水カートリッジのプラグ先端の保護キャップを外してください。(2個)



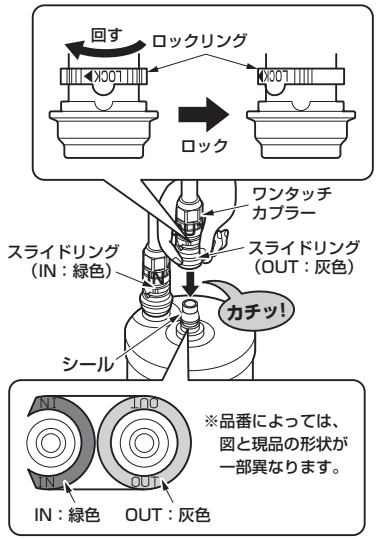
❸「IN：緑色」のワンタッチカプラーを取り付ける。

新しい浄水カートリッジに貼っているシールの表示・色とスライドリングの表示・色をあわせて「**カチッ**」と音がするまで押し込んでください。

※必ず「IN：緑色」のワンタッチカプラーから取り付けてください。
※ワンタッチカプラーの接続部にごみなどが付着しないようご注意ください。

❹同様に「OUT：灰色」のワンタッチカプラーを取り付ける。
ロックリングをロックする。

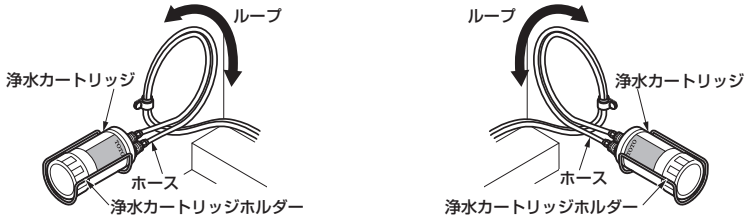
※ワンタッチカプラーの接続部にごみなどが付着しないようご注意ください。
※INとOUTを逆に接続すると、浄水カートリッジの寿命が極端に短くなったり、水量の低下および活性炭漏れの原因になります。



9-2.

❺図Aのように、ホースをループさせて浄水カートリッジを浄水カートリッジホルダーに載せる。

＜図A＞



❻浄水カートリッジが出し戻しできることを確認する。

＜図B＞浄水カートリッジを引き出した状態

ループが維持できる範囲で引き出し可能です。

❼通水し、水漏れがないか確認する。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶ホースはしっかりと接続されていますか？

↳ 9-1. 施工後、お客様がすぐに使用する場合 参照

直結プラグ

浄水カートリッジに同梱されている直結プラグは、

必ずお客様にお渡しください

10. 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**
お客様に十分にご説明ください。

現　象	説　明
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

11-1. 寒冷地用の水抜き方法

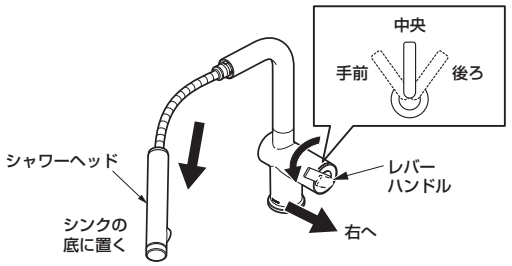
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

水栓内の水抜き作業を行う前に、配管内の水抜きを必ず行ってください。
配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

重要

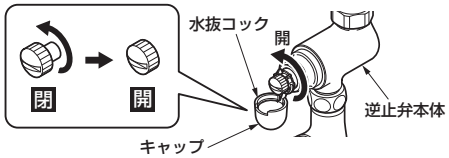
【混合水栓の場合】

下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。

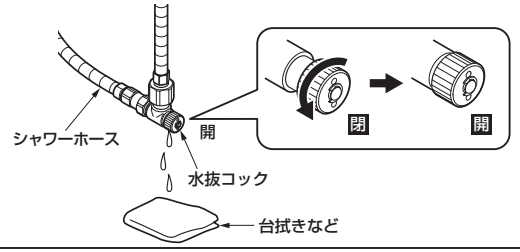


❶ シャワーヘッドをシンクの底に置く。

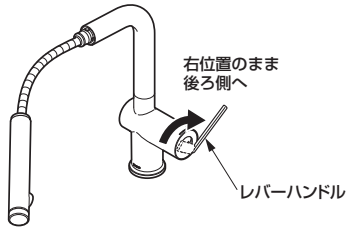
❷ レバーハンドルを手前側いっぱいに回し、右に動かす。
（水が出る状態）



❸ 逆止弁本体の水抜コックのキャップを外し、水抜コックを左回りに止まるまで回す。
●水抜コック：2カ所（湯側・水側）

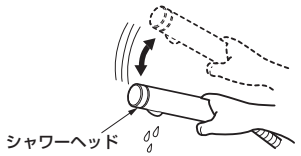


❹ シャワーホースの下に台拭きなどを用意し、水抜コックを左回りに止まるまで回す。
●水抜コック：1カ所



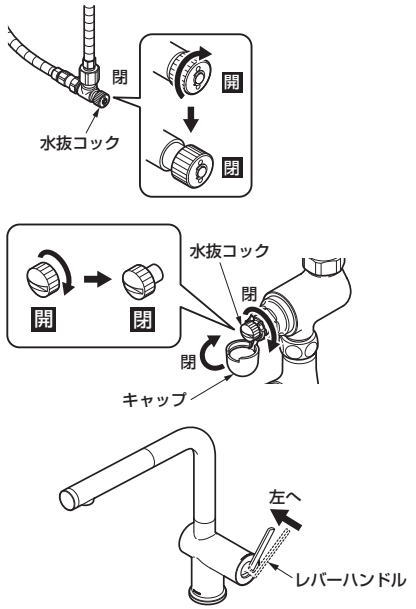
❺ 水抜コックから水が出なくなったら、レバーハンドルを右位置のまま後ろ側いっぱいに回す。

11-2.



❻ ホース内の水を抜く。

シャワーヘッドを下向きにし、よく振って中の水を抜いてください。

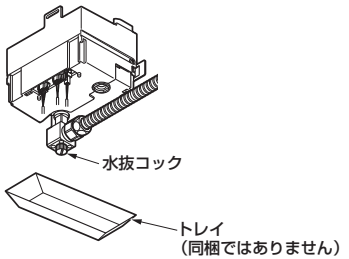


❼ 水が抜けたら、水抜コックを閉め、レバーハンドルを左に動かす。
（水が出ない状態）
●水抜コック：3カ所
（湯側・水側・シャワーホース）

11-3.

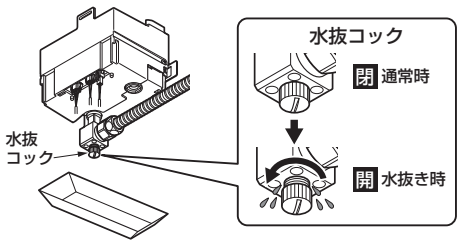
【きれい除菌水ありの場合】

下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。



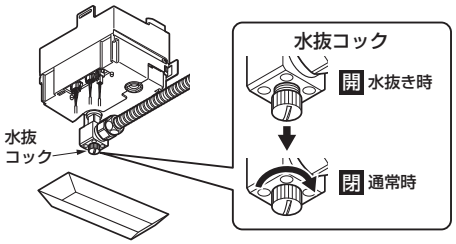
❶ 水抜コックの下にトレイなどを置く。

約80ccの水が出ます。
（5秒間程度）



❷ 水抜コックを開けて、配管内の水を抜く。

●水抜コック：1カ所



❸ 水が抜けたら、水抜コックを閉める。

●水抜コック：1カ所

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。